

平成30年度

七教第18-1378号
平成30年度亦楽小学校プール解体工事
公開数量内訳書

<取扱上の注意事項>

- 1 本内訳書に記載されている数量は参考数量であり、本内訳書は工事請負契約書に記載される設計図書には含まれない。
- 2 公開数量は、設計変更や出来高計算等の対象数量となるものではない。
- 3 公開数量は、公共建築工事積算基準、公共建築数量積算基準及び公共建築設備数量積算基準の最新版に準拠している。
- 4 本内訳書に疑義があるときは、公開数量に関する質問書に入札参加予定者が自ら作成した内訳及びその根拠（部位別及び階別の集計表）を明示した数量見積書を添付して質問することができる。（細目は、工事担当に問い合わせのこと。）

七ヶ浜町

(数量公開用)

積算総括表

工事名	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事		
工事費	金 円(消費税を含む)		
工事日数			
項目	名称	金額 (円)	摘要
A	直接工事費		
B	共通仮設費		
C	純工事費		
D	現場管理費		
E	工事原価		
F	一般管理費等		
G	同上(契約保証費)		
H	工事価格合計		
	改め		
	消費税等相当額		
	総合計		

共 通 費

主たる工事の種別	工事種目	直接工事費(A)	共通仮設費(B)			純工事費(C)	
			共通仮設費率	補正率	共通仮設費		
建築工事（新営）	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装 舗 取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						
	工事種目			現場管理費(D)			工事原価(E)
				現場管理費率	補正率	現場管理費	
	一般工事						
	鉄骨工事						
	その他工事	家具・書架等 造園装 舗 取壊し その他					
	共通仮設費(積上分)						
	現場管理費(積上分)						
	小計						
	発生材処分費						
	合計						

工事番号 七教第18-1378号
 工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事
 発注者 七ヶ浜町

工 期		
監督員事務所の有無		無し
前払金支出割合による一般管理費の補正		
前払い金支出割合		
契約保証費の有無		有り
消費税 率		8.0%

一般管理費等(F)		
一般管理費等率	補正率	一般管理費
契約保証費(G)		
工事価格(H)=(E)+(F)+(G) (税抜き)		
	改め	
消費税相当額		
工事価格(税込み)		
(税込み)		

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
4) 外構撤去						
旗ポール基礎 コンクリートとりこわし	基礎	1.2	m3			
地業とりこわし	積込み共	0.3	m3			
旗ポールとりこわし	鋼製 L5.0m φ85	1.0	か所			
旗ポールとりこわし	鋼製 L4.0m φ85	2.0	か所			
浄化槽 コンクリートとりこわし	基礎 大型ブレーカ、圧砕機併用	6.4	m3			
水飲み兼洗眼 コンクリートとりこわし	地上 圧砕機主体	1.0	m3			
シャワー及び洗体槽 土間コンクリートとりこわし	厚100~150 大型ブレーカ、圧砕機併用	3.5	m3			
シャワー及び洗体槽 地業とりこわし	厚100~150 大型ブレーカ、圧砕機併用、すき取り準用	2.7	m3			
シャワー及び洗体槽 コンクリートブロックとりこわし	地上 厚100	1.3	m ²			
ネットフェンスとりこわし	H1200、集積共	150.0	m			
ネットフェンス基礎とりこわし	300×300×450	85.0	か所			
地先境界ブロックとりこわし	120×150×600	75.0	m			
U字溝とりこわし	W300	89.5	m			
グレーチング蓋とりこわし	W300用	50.0	m			
コンクリート蓋とりこわし	W300用	30.0	m			
コンクリート樹・グレーチング蓋とりこわし	550×550	1.0	か所			
コンクリート樹・蓋とりこわし	710×710	1.0	か所			
樹木剪定	幹周60~90cm未満 枝総数68本程度	4.0	本			
発生材運搬	コンクリート ダンプトラック4t DID区間有 16.4km	12.0	m3			
発生材運搬	コンクリート二次製品 ダンプトラック4t DID区間有 16.4km	10.1	m3			
発生材運搬	砕石 ダンプトラック4t DID区間有 16.4km	3.0	m3			
発生材運搬	タイル・モルタル ダンプトラック4t DID区間有 24.3km	1.4	m3			
発生材運搬	生木 ダンプトラック4t DID区間有 24.3km	1.3	m3			
発生材運搬	その他 ダンプトラック4t DID区間有 24.3km	3.6	m3			
(小計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
5) 場内整備工事						
場内整地 敷き均し	発生土敷き均し	404.0	m3			
クラッシャーラン	t=100	1,265.0	m ²			
敷き均し		1,265.0	m ²			
締め固め		1,265.0	m ²			
土工機械運搬			往復			
舗装機械運搬	振動ローラー		往復			
【乗入れ部】						
アスファルトカッター入れ		21.4	m			
アスファルト舗装撤去		53.6	m ²			
路盤撤去		5.4	m3			
外渠撤去		8.4	m			
植栽縁石撤去		8.4	m			
乗入れ用 外渠復旧		6.0	m			
一般 外渠復旧		2.4	m			
アスファルト舗装復旧	A-5-10 特に狭い場所	66.2	m2			
植栽用縁石	9-11-12	2.4	m			
舗装機械運搬		1.0	式			
発生材運搬	コンクリート二次製品 ダンプトラック 4t DID区間有 16.4km	0.6	m3			
発生材運搬	アスコン ダンプトラック4t DID区間有 16.4km	2.7	m3			
【工事用道路工】						
掘削		57.0	m3			
盛土	B種	145.3	m3			
搬入土運搬(不足土)	建設発生土運搬 ダンプトラック 4t車 DID区間有 2.0km以下	104.4	m3			
仮置場所 土工機械	運搬共・再利用運搬分		台			
切土法面整形	1:1.5	67.3	m ²			
盛土法面整形	1:1.8	124.7	m ²			
碎石敷き	工事用道路分 締め固め含 む	249.6	m ²			
土工機械運搬		1.0	式			
(小計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
2) 給水設備						
水道用ポリエチレン二層管 撤去	地中配管 20A	8.0	m			
水道用ポリエチレン二層管 撤去	地中配管 25A	16.0	m			
水道用ポリエチレン二層管 撤去	地中配管 50A	35.0	m			
塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	機械室・便所 20A	7.0	m			
塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	屋外架空 20A	3.0	m			
塩ビライニング鋼管 (SGP-VB)撤去	屋外架空 25A	18.0	m			
塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)撤去	地中配管 15A	2.0	m			
塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)撤去	地中配管 20A	11.0	m			
塩ビライニング鋼管 (SGP-VD)撤去	地中配管 25A	14.0	m			
給水管保温撤去	ポリスチレンフォーム露出 20A	7.0	m			
単水栓撤去	13A	8.0	個			
単水栓撤去	20A	1.0	個			
キャップ止め	20A	1.0	箇所			
キャップ止め	50A	2.0	箇所			
(小計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
5) 発生材運搬費						
廃プラスチック	ダンブトラック4t積 DID区間有り 24.3km以下	0.6	m3			
保温層	ダンブトラック4t積 DID区間有り 24.3km以下	0.02	m3			
陶器類	ダンブトラック4t積 DID区間有り 24.3km以下	0.4	m3			
有筋コンクリート	ダンブトラック4t積 DID区間有り 16.4km以下	1.5	m3			
(小計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
C 発生材処分費						
1 建築工事						
発生材処分	コンクリート 秋山建材	208.0	t			
発生材処分	コンクリート二次製品 秋山建材	159.0	t			
発生材処分	アスコン 秋山建材	6.0	t			
発生材処分	砕石 秋山建材	408.0	t			
発生材処分	タイル・モルタル 宮城公害処理	6.1	t			
発生材処分	ガラス 宮城公害処理	0.1	t			
発生材処分	木屑 宮城公害処理	0.6	t			
発生材処分	生木 宮城公害処理	0.7	t			
発生材処分	廃プラスチック 宮城公害処理	0.1	t			
発生材処分	その他	1.5	t			
産廃税		1.5	t			
発生材処理(有価材)	ステンレス	12.9	kg			
発生材処理(有価材)	アルミ	155.0	kg			
発生材処理(有価材)	鉄くず H4	45.1	kg			
発生材処理(有価材)	鉄くず H3	3,019.0	kg			
発生材処理(有価材)	鉄くず H2	26,118.0	kg			
(小計)						

明 細 書

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
				(円)	(円)	
C 発生材処分費						
2 電気設備工事						
発生材処分	ランプ 宮城公害処理	1.85	kg			
発生材処分(有価材)	鉄くず	0.06	m3			
発生材処分	廃材プラスチック 宮城公害処理	10.650	kg			
発生材処分	木くず 宮城公害処理	484.0	kg			
発生材運搬	ランプ、ダンプトラック4t DID区間有24.3km	0.002	m3			
発生材運搬	廃プラスチック、ダンプトラック4t DID区間有24.3km	0.005	m3			
発生材運搬	木くずダンプトラック4t DID区間有24.3km	0.88	m3			
(小計)						

平成30年度 亦楽小学校プール解体工事

図面リスト

番号	建築図面名称	番号	電気図面名称	番号	機械図面名称
A-00	表紙・図面リスト	E-01	電灯幹線図	M-01	亦楽小学校給水設備平面図
A-01	解体工事特記仕様書 1	E-02	電灯設備 照明新設図	M-02	亦楽小学校排水設備平面図
A-02	解体工事特記仕様書 2			M-03	更衣室棟給排水設備詳細図
A-03	工事概要及び内外部仕上表			M-04	シャワー及び洗体槽給排水設備詳細図
A-04	見取図・配置図			M-05	プール濾過設備配管図(1)
A-05	配置図			M-06	プール濾過設備配管図(2)
A-06	立面図・断面図			M-07	プール濾過設備機械配置及び断面図
A-07	更衣室棟 平面図				
A-08	更衣室棟 矩計図・立面図				
A-09	機械室 平面図・立面図・矩計図				
A-10	プール本体 フェンスロッカーその他詳細図				
A-11	プール本体 詳細図				
A-12	プール本体 長辺方向断面・オーバーフローその他詳細図				
A-13	プール本体 標準プールタラップ詳細図				
A-14	プール本体 給排水配管系統図その他				
A-15	シャワー及び洗体槽詳細図				
A-16	し尿浄化槽詳細図				
A-17	建具表				
A-18	歩道切り下げ新設図				
A-19	工事用道路設計平面図				
A-20	工事用道路横断図 1				
A-21	工事用道路横断図 2				
A-22	工事用道路横断図 3				
A-23	工事用道路横断図 4				
A-24	仮設計画図				

記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印 .	図面名称 表紙・図面リスト	縮尺 A2: -/- A4: -/-
				図面番号 A-00

特記仕様書		⑦ 完成写真		④ ① 再資源化等		6 1. 一般事項																																																																																																																																																																				
<p>I 工事概要</p> <p>1 工事番号・名称 一 号 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事</p> <p>2 工事場所 宮城県七ヶ浜町代ヶ崎浜字細田54-1地内</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域(○内・外) 用途地域(第1種中高層) 防火地域等(・防火・準防火○指定なし・22条) その他の地域・地区()</p> <p>4 主要用途 小学校(プール)</p> <p>5 敷地面積 1,104 m²(プール敷地)</p> <p>6 工事の概要</p> <p>1. プール函体撤去工事</p> <p>2. 更衣室・機械室(上部躯体・土間・基礎含む)撤去工事</p> <p>3. プールサイド平板ブロック撤去工事</p> <p>4. プールに附属する外構撤去(フェンスなど)工事</p> <p>5. その他、電気・機械設備の撤去工事</p> <p>6. 県道から重機乗入れ用仮設通路工事</p> <p>7. 整地工事(既存建物他撤去後現況地盤高さで整地)</p> <p>7 別途工事</p> <p>8 その他</p> <p>9 特記仕様書の範囲</p> <p>特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。</p> <p>○ 外構工事特記仕様書 ・ 補装工事特記仕様書</p> <p>○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書</p> <p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成25年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。</p> <p>なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のついていない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の []、() 及び < > 内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>※ 作成する</p> <p>宮城県建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原画(ネガ又は電子媒体)とともに監督職員に提出する。</p> <p>なお、原画を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> <tr> <td>※カラー</td> <td>※L</td> <td>※宮城県写真撮影要領の完成写真程度</td> <td>※1部</td> <td>※工事用アルバムA4版</td> </tr> <tr> <td>・白黒</td> <td>・2L</td> <td>・六切り</td> <td>・部</td> <td>・ポケット式程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)</td> </tr> </table> <p>・作成しない</p> <p>工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。</p> <p>保険の種類 ・ 火災保険 ※ 建設工事保険</p> <p>保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで</p>		分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	※カラー	※L	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※1部	※工事用アルバムA4版	・白黒	・2L	・六切り	・部	・ポケット式程度					・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)	<p>建設廃棄物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>中間処理施設又は再資源化施設の名称等</th> <th>所在地(km)</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td>秋山建材</td> <td>仙台市若林区荒浜字北長沼24-79(16.4km)</td> </tr> <tr> <td>○アスファルト、コンクリート</td> <td>秋山建材</td> <td>仙台市若林区荒浜字北長沼24-79(16.4km)</td> </tr> <tr> <td>○木材</td> <td>宮城公害処理</td> <td>仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)</td> </tr> <tr> <td>・金属類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小型二次電池</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[4.4.1(e)]</p> <table border="1"> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>再資源化の有無</th> <th>再資源化施設の名称等</th> <th>所在地(km)</th> </tr> <tr> <td>○蛍光灯ランプ</td> <td>○する</td> <td>宮城公害処理</td> <td>仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)</td> </tr> <tr> <td>○HIDランプ</td> <td>・しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○硬質塩化ビニル管・継手</td> <td>○する</td> <td>宮城公害処理</td> <td>仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)</td> </tr> <tr> <td>○ガラス</td> <td>○する</td> <td>宮城公害処理</td> <td>仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)</td> </tr> </table> <p>[4.4.1(f)]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>利用する場所(箇所)等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し、再生材クラッシュラン(0~40)として利用する場合は、標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシュランによることとし、すりへり減量を50%以下にすること。</p> <p>[4.4.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[4.4.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>受入施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[4.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>処理施設名称等</th> <th>所在地(Km)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード</p> <p><対象となる石膏ボード></p> <p>小名浜吉野石膏(株) いわき工場 昭和48年10月~平成9年4月の間に製造されたもの</p> <p>日東石膏ボード(株) 八戸工場 平成4年10月~平成9年4月の間に製造されたもの</p>		建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)	・コンクリート			○コンクリート及び鉄から成る建設資材	秋山建材	仙台市若林区荒浜字北長沼24-79(16.4km)	○アスファルト、コンクリート	秋山建材	仙台市若林区荒浜字北長沼24-79(16.4km)	○木材	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)	・金属類			・小型二次電池			建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地(km)	○蛍光灯ランプ	○する	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)	○HIDランプ	・しない			○硬質塩化ビニル管・継手	○する	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)	○ガラス	○する	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)	種類	利用する場所(箇所)等			種類	所在地等(km)			種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考					種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考					<p>石綿等の取扱については、大気汚染防止法(昭和43年6月10日法律第97号)(以下、「大防法」という。)及び石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。</p> <p>施工調査</p> <p>※ 行う (大防法第18条の17により、同法の特定制事に該当するか事前調査を行うこと。調査結果は、図面等に記録し、書面により発注者に説明の上、提出すること。特定工事に該当する場合、発注者は大防法第18条の15による届出書の案を作成し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。)</p> <p>調査事項</p> <p>※ アスベスト含有建材等の使用部位</p> <p>※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ、面積</p> <p>※ 施工範囲と工事範囲区分</p> <p>※ 排出等作業の方法</p> <p>調査結果を公衆に見やすいよう掲示すること。</p> <p>※ 事業場の名称 ※ 調査結果</p> <p>※ 建築物の種類 ※ 調査者及び所属</p> <p>※ 調査方法 ※ 調査終了年月日</p> <p>※ 発注者からの通知</p> <p>アスベスト含有分析</p> <p>・行わない</p> <p>・行う(分析結果は監督職員に提出する。)</p> <p>調査箇所 ※ 図示</p> <p>分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・(試料数:)</td> <td>・(試料数:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・(試料数:)</td> <td>・(試料数:)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・(試料数:)</td> <td>・(試料数:)</td> </tr> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>・行わない</p> <p>※ 行う(測定する時期・場所等は下表による)</p> <p>「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部- : 光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。</p> <table border="1"> <tr> <th>適用名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点</th> <th>室名等</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>○測定4</td> <td></td> <td>セキソリティゾーン入口</td> <td>※1点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(空気の流れを確認)</td> <td>※1点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>○測定5</td> <td></td> <td>責任・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)</td> <td>※1点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>○測定6</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>撤去前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>撤去後</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> <tr> <td>・測定9</td> <td>撤去後</td> <td>処理作業室内</td> <td>※2点</td> <td>・点</td> </tr> </table> <p>測定点総計</p> <p>注1: 周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。</p> <p>(例) アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <table border="1"> <tr> <th>測点3</th> <th>測点1, 2, 4, 6, 7, 8</th> <th>測点5</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>数計機</p> <p>メンプレンフィルタの直径 25mm</p> <p>試料の吸引流量 1L/min 5L/min 10L/min</p> <p>試料の吸引時間 5min 120min 240min</p> <p>試料の透明化 アセトン固定-有機物灰化-屈折率浸液法</p> <p>計数条件 総合倍率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</p> <p>計数アスベスト 幅3µm未満、長さ5µm以上、アスペクト比(長さ/幅)3以上</p> <p>定量限界 50本/L 0.47本/L 0.3本/L</p> <p>記録する項目</p> <p>ア. 測定結果</p> <p>イ. 測定時間</p> <p>ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。)</p> <p>エ. サンプル条件(メンプレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)</p> <p>オ. マウンティング法</p> <p>カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数</p> <p>キ. 測定時(各測定場所ごとの)天候、温度、湿度、外気の風速及び風量</p> <p>測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関</p> <p>施工記録報告書の提出</p> <p>1. 施工計画書</p> <p>2. 工事記録及び工事写真</p> <p>3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿)</p> <p>4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等)</p> <p>5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録</p> <p>6. その他必要事項</p> <p>提出部数 3部作成</p>		材料名	定性分析	定量分析		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)		・(試料数:)	・(試料数:)	適用名称	測定時期	測定場所	測定点	室名等	・測定1	処理作業前	処理作業室内	※2点	・点	・測定2		施工区画周辺又は敷地境界	※2点	・点	・測定3	処理作業中	処理作業室内	※2点	・点	○測定4		セキソリティゾーン入口	※1点	・点			(空気の流れを確認)	※1点	・点	○測定5		責任・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)	※1点	・点			施工区画周辺又は敷地境界	※2点	・点	○測定6	処理作業後	処理作業室内	※2点	・点	・測定7	撤去前	施工区画周辺又は敷地境界	※2点	・点	・測定8	撤去後	処理作業室内	※2点	・点	・測定9	撤去後	処理作業室内	※2点	・点	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5			
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																																																																																																																																						
※カラー	※L	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度	※1部	※工事用アルバムA4版																																																																																																																																																																						
・白黒	・2L	・六切り	・部	・ポケット式程度																																																																																																																																																																						
				・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)																																																																																																																																																																						
建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等	所在地(km)																																																																																																																																																																								
・コンクリート																																																																																																																																																																										
○コンクリート及び鉄から成る建設資材	秋山建材	仙台市若林区荒浜字北長沼24-79(16.4km)																																																																																																																																																																								
○アスファルト、コンクリート	秋山建材	仙台市若林区荒浜字北長沼24-79(16.4km)																																																																																																																																																																								
○木材	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)																																																																																																																																																																								
・金属類																																																																																																																																																																										
・小型二次電池																																																																																																																																																																										
建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等	所在地(km)																																																																																																																																																																							
○蛍光灯ランプ	○する	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)																																																																																																																																																																							
○HIDランプ	・しない																																																																																																																																																																									
○硬質塩化ビニル管・継手	○する	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)																																																																																																																																																																							
○ガラス	○する	宮城公害処理	仙台市若林区三本塚荒谷85(24.3km)																																																																																																																																																																							
種類	利用する場所(箇所)等																																																																																																																																																																									
種類	所在地等(km)																																																																																																																																																																									
種類	受入施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																																																																																																																							
種類	処理施設名称等	所在地(Km)	備考																																																																																																																																																																							
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																								
	・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																								
	・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																								
	・(試料数:)	・(試料数:)																																																																																																																																																																								
適用名称	測定時期	測定場所	測定点	室名等																																																																																																																																																																						
・測定1	処理作業前	処理作業室内	※2点	・点																																																																																																																																																																						
・測定2		施工区画周辺又は敷地境界	※2点	・点																																																																																																																																																																						
・測定3	処理作業中	処理作業室内	※2点	・点																																																																																																																																																																						
○測定4		セキソリティゾーン入口	※1点	・点																																																																																																																																																																						
		(空気の流れを確認)	※1点	・点																																																																																																																																																																						
○測定5		責任・粉じん装置の排出吹出口(除じん装置の性能確認)	※1点	・点																																																																																																																																																																						
		施工区画周辺又は敷地境界	※2点	・点																																																																																																																																																																						
○測定6	処理作業後	処理作業室内	※2点	・点																																																																																																																																																																						
・測定7	撤去前	施工区画周辺又は敷地境界	※2点	・点																																																																																																																																																																						
・測定8	撤去後	処理作業室内	※2点	・点																																																																																																																																																																						
・測定9	撤去後	処理作業室内	※2点	・点																																																																																																																																																																						
測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5																																																																																																																																																																								
<p>⑧ 火災保険等</p>		<p>② ① 仮囲い</p> <p>○ 設ける(位置、延長等は図示)</p> <p>○ 万能鋼板(H=2.0m) ○ メッシュシート(H=2.0m)</p> <p>・ 単管シート(H=) ・ 波形鉄板(H=)</p> <p>・ 防音パネル(H=) ・ 防音シート(H=)</p> <p>○ パネルゲート(W=7.2m H=4.5m) × 1箇所</p> <p>・ シートゲート(W=) × 箇所</p> <p>・ 設けない</p> <p>② 騒音、防塵等の対策 [2.2.1]</p> <p>※ 設ける(適用範囲、高さ等は図示)</p> <p>・ 防音パネル ・ 防音シート</p> <p>・ 設けない</p> <p>③ 交通誘導員</p> <p>○ 配置する(75日 × 1人 = 75人日) ・ 配置しない</p> <p>④ 監督職員事務所</p> <p>・ 設ける</p> <p>・ 既存建物内の一部を使用する。</p> <p>・ 構内に新設する(規模 m²程度)</p> <p>・ 備え付ける備品()</p> <p>※ 設けない</p> <p>⑤ 工事表示板</p> <p>営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。</p> <p>※ 工事表示板 設置枚数 1枚</p> <p>・ 事業コスト表示板 設置枚数 枚</p> <p>※ 建設リサイクル法による標識を設置する。</p> <p>⑥ 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる(※有償・無償)</p> <p>・ 利用できない</p> <p>⑦ 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ※ 利用できる(※有償・無償)</p> <p>・ 利用できない</p> <p>⑧ 工事用通路</p> <p>※ 指定しない ○ 指定する(図示)</p> <p>⑨ 足場その他</p> <p>内部足場 ・ 脚立、足場板等 ・ <2.2.1></p> <p>外部足場 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 <表2.2.1></p> <p>防護シート ・ 設ける(・防音シート ・ その他)</p> <p>・ 設けない</p> <p>材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 <表2.2.2></p> <p>※ D種 ・ E種</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p> <p>⑩ その他</p> <p>・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施設できる小屋等に保管すること。</p> <p>・ 作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。</p> <p>○ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。</p> <p>・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。</p>		<p>⑤ ① 施工調査</p> <p>[5.1.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>仕様等(型式、厚さ、数量)</th> <th>調査の範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 工事対象範囲</td> </tr> </table> <p>[5.1.3][1.2.2(a)]</p> <p>※ 種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。</p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>処分場の名称</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> <tr> <td>・ 廃石綿</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器</p> <p>・ 有(数量は図示) [5.4.3]</p> <p>○ 無</p> <p>PCB含有シーリング材</p> <p>・ 有(施工範囲は図示) [5.4.4]</p> <p>○ 無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管業者に引き渡す。</p> <p>[7.3.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>回収又は処分を行う副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>回収業者又は処分場の名称等</th> <th>保管場所・処分場の所在地等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ フロン</p> <p>・ ハロン</p> <p>・ イオン化式感知器</p> <p>・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス</p>		材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲			※ 図示			・ 工事対象範囲	特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)	・ 廃石綿			回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																																																																																																		
材料名	仕様等(型式、厚さ、数量)	調査の範囲																																																																																																																																																																								
		※ 図示																																																																																																																																																																								
		・ 工事対象範囲																																																																																																																																																																								
特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)																																																																																																																																																																								
・ 廃石綿																																																																																																																																																																										
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																																																																																																																							
<p>II 建築工事仕様</p> <p>1. 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(平成25年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成25年版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。</p> <p>なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のついていない場合は※印のついたものを適用する。○印と◎印のついた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の []、() 及び < > 内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>		<p>③ ① 解体工法</p> <p>※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。</p> <p>※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準(建設リサイクル法規則第2条)」による。</p> <p>② 施工計画書等 [1.2.1~2]</p> <p>工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に提出し、承諾を得ること。</p> <p>③ 杭 [3.9.2]</p> <p>杭の解体</p> <p>・ 行う(※杭頭から mまで ・ 全長)</p> <p>杭の解体工法</p> <p>・ 引き抜き工法(・振動 ・ ケーシング)</p> <p>・ 粉砕による解体</p> <p>④ 樹木等 [3.10.1]</p> <p>樹木の伐採伐根及び移植</p> <p>○ 行う(図示による)</p> <p>⑤ 地下埋設物の埋設配管 [3.11.1]</p> <p>地下埋設物及び埋設配管の解体</p> <p>・ 行う(図示による)</p> <p>⑥ 解体後の整地 [3.12.1]</p> <p>解体後の埋戻し及び盛り土</p> <p>○ 行う</p> <p>埋戻し及び盛り土の材料 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの(粒径40mm以下)を使用する。</p> <p>埋戻し範囲 ○ 図示による</p> <p>C種の場合</p> <p>建設発生土受入れ量 m³</p> <p>発生場所</p> <p>受入条件</p> <p>整地の高さ ○ 現状G L</p> <p>・ 図示による</p>		<p>⑤ ② 特別管理産業廃棄物等の処理及び回収計画</p> <p>[5.1.3][1.2.2(a)]</p> <p>※ 種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。</p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>処分場の名称</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> <tr> <td>・ 廃石綿</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器</p> <p>・ 有(数量は図示) [5.4.3]</p> <p>○ 無</p> <p>PCB含有シーリング材</p> <p>・ 有(施工範囲は図示) [5.4.4]</p> <p>○ 無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管業者に引き渡す。</p> <p>[7.3.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>回収又は処分を行う副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>回収業者又は処分場の名称等</th> <th>保管場所・処分場の所在地等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ フロン</p> <p>・ ハロン</p> <p>・ イオン化式感知器</p> <p>・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス</p>		特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)	・ 廃石綿			回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																																																																																																											
特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)																																																																																																																																																																								
・ 廃石綿																																																																																																																																																																										
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																																																																																																																							
<p>章 項 目 特 記 事 項</p> <p>① 一般事項</p> <p>○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。</p> <p>○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。</p> <p>○ 施工体系図を現場に掲示すること。</p> <p>・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。</p> <p>調査範囲 ※ 図示</p> <p>② 適用基準等</p> <p>○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)</p> <p>○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱(平成27年4月1日施行)</p> <p>○ 宮城県建築工事写真撮影要領(宮城県土木部制定 平成12年版)及び工事写真の撮り方<建築編>第2編 工事写真の撮り方(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)</p> <p>③ 工事実績情報(CORINS)の登録 [1.1.4]</p> <p>※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合)</p> <p>受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。</p> <p>・ 適用しない</p> <p>④ 電気保安技術者 [1.3.3]</p> <p>・ 適用する ※ 適用しない</p> <p>⑤ 事故報告 [1.3.8]</p> <p>工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。</p> <p>⑥ 完成図等</p> <p>営繕工事完成引渡要領(平成13年4月1日宮城県土木部営繕課・設備室策定)により作成する。</p> <p>※ 解体工事のため、解体後の敷地が分かる図面</p> <p>※ 解体工事の工事竣工書類</p>		<p>⑤ ③ 特別管理産業廃棄物等の処理及び回収計画</p> <p>[5.1.3][1.2.2(a)]</p> <p>※ 種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。</p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>処分場の名称</th> <th>所在地等(km)</th> </tr> <tr> <td>・ 廃石綿</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器</p> <p>・ 有(数量は図示) [5.4.3]</p> <p>○ 無</p> <p>PCB含有シーリング材</p> <p>・ 有(施工範囲は図示) [5.4.4]</p> <p>○ 無</p> <p>PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管業者に引き渡す。</p> <p>[7.3.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th>回収又は処分を行う副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>回収業者又は処分場の名称等</th> <th>保管場所・処分場の所在地等</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ フロン</p> <p>・ ハロン</p> <p>・ イオン化式感知器</p> <p>・ 六フッ化硫黄(SF6)ガス</p>		特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)	・ 廃石綿			回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等					<p>設計年月</p> <p>平成30年9月</p> <p>図面番号</p> <p>A-01</p>																																																																																																																																																								
特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称	所在地等(km)																																																																																																																																																																								
・ 廃石綿																																																																																																																																																																										
回収又は処分を行う副産物の種類	対象機器名称	回収業者又は処分場の名称等	保管場所・処分場の所在地等																																																																																																																																																																							
<p>工事名称</p> <p>平成30年度 亦楽小学校プール解体工事</p>		<p>図面名称</p> <p>解体工事特記仕様書 1</p>		<p>縮尺</p> <p>A2: -/-</p> <p>A4: -/-</p>																																																																																																																																																																						

6 ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去	2. 除去工事 共通事項	<p>専門事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門事業者については、工事に 相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 <9.1.2(a)></p> <p>作業主任者の選出 <9.1.2(b)> 石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者 技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ ならない。</p> <p>除去作業者の教育 <9.1.2(c)> 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と し、肺機能に異常のない者とする。</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2(d)> 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを 選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。</p> <p>表示及び掲示 <9.1.2(f)> 更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 ※ アスベスト作業主任者名と職務内容 ※ 関係者以外立入禁止 ※ 喫煙・飲食の禁止 ※ 「アスベスト除去作業中」の表示 ※ アスベストの有害性 ※ 取り扱い上の注意事項 ※ 使用すべき保護具</p> <p>周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への 届出内容、粉じん飛散抑制装置、騒音防止措置等）」</p> <p>保護具、保護衣 <9.1.2(g)> 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。</p> <p>除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 <9.1.3(c)><9.1.4(d)><9.1.5(c)> ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形板を運搬する 場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 ※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。</p>	5. アスベスト 含有成形板の 処理	<p>アスベスト含有成形板の除去工事 <9.1.5(a)> ・ 行う（適用範囲・図示） ・ 行わない <9.1.5(a)></p> <p>養生 ※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。</p> <p>除去工法 <9.1.5(b)> ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した 状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベ スト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に 入れる等の飛散防止措置を講ずること。</p>																														
	3. アスベスト 含有吹き付け材 の除去	<p>アスベスト含有吹き付け材の除去工事 <9.1.3(b)> ・ 行う（適用範囲・図示） ・ 行わない</p> <p>作業場等の隔離等 <9.1.3(a)> ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により 飛散防止をすること。</p> <p>隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等</p> <p>ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」に よる「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査 証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等 の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には 監督員の承諾を得ること。</p> <p>セキュリティゾーンの設置 <9.1.3(a)> ※ 下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>室名</th> <th>状態</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>更衣室</td> <td></td> <td>※ 更衣ロッカー</td> <td>※ 新品の保護具</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 呼吸用保護具保管箱</td> <td>※ 洗顔、うがい設備</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>洗浄室</td> <td>負圧</td> <td>※ エアシャワー（温水シャワー）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>前室</td> <td>負圧</td> <td>・ 高性能真空掃除機</td> <td>・ 使用済み保護衣保管かご</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」に よる「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査 証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等 の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には 監督員の承諾を得ること。</p> <p>除去物及び汚染等 <9.1.3(b)> 処理方法 ※ 密封処理（二重袋梱包） 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空 掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化</p>	適用	室名	状態			※	更衣室		※ 更衣ロッカー	※ 新品の保護具				※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗顔、うがい設備	※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー（温水シャワー）		※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機	・ 使用済み保護衣保管かご	4. アスベスト 含有保温材等 の除去	<p>アスベスト含有保温材の除去工事 <9.1.4)> ・ 行う（適用範囲・図示） ・ 行わない</p> <p>養生等 <9.1.4(b)> ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。</p> <p>掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う…この場合は改修標仕<9.1.3>「アスベスト含有吹き付け材の除去」 によること。</p> <p>除去工法 <9.1.4(c)> ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については改修標仕<9.1.3(b)>により、密封処理とする。</p>					
適用	室名	状態																																
※	更衣室		※ 更衣ロッカー	※ 新品の保護具																														
			※ 呼吸用保護具保管箱	※ 洗顔、うがい設備																														
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー（温水シャワー）																															
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機	・ 使用済み保護衣保管かご																														

記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 解体工事特記仕様書 2	縮尺 A2 : -/- A4 : -/-

工 事 概 要

工事名称					
工事場所					
敷地面積					
プール新設	鋼板プール (日本鋼管プール) 標準	25,000	×	16,000	1基
プール施設	更衣室	補強コンクリートブロック造	16,200	×	3,600 1棟 58.32M ²
	機械室	全 上	5,500	×	2,700 1棟 14.85M ²
	シャワー及洗体槽				1ヶ所
	プールサイド歩道板敷込				1式
	島 土				1式
	ネットフェンス (東芝V8型 H=1200) (フェンス扉付)				延.158,000 (フェンス扉 w=1200 H=1200 片側キ 1ヶ / w=1600 H=1000 両側キ 1ヶ)
洗園及水吞				1ヶ所	
附帯設備	機械設備				
	1. 戸廻機設置 (狭山製作所製)				1式
	1. 給排水衛生設備 浄化槽 30 ³ 槽				1式
	1. 電灯動力設備				1式

外 部 仕 上

	板	廻	壁	建	具	屋	根	備	考
更衣室棟	モルタル刷毛引		C.B.化粧積CSアンダーコート塗0.5% ワスレ防止処理	スチールドア	木製珪藻土OP. 型ガラス並	日本防水AS工法 押モルタル目地切コーキング			壁植付部は水平ル 80φ ルーフトリプル断熱 80φ
機械室棟	全 上		全 上	全 上		全 上			

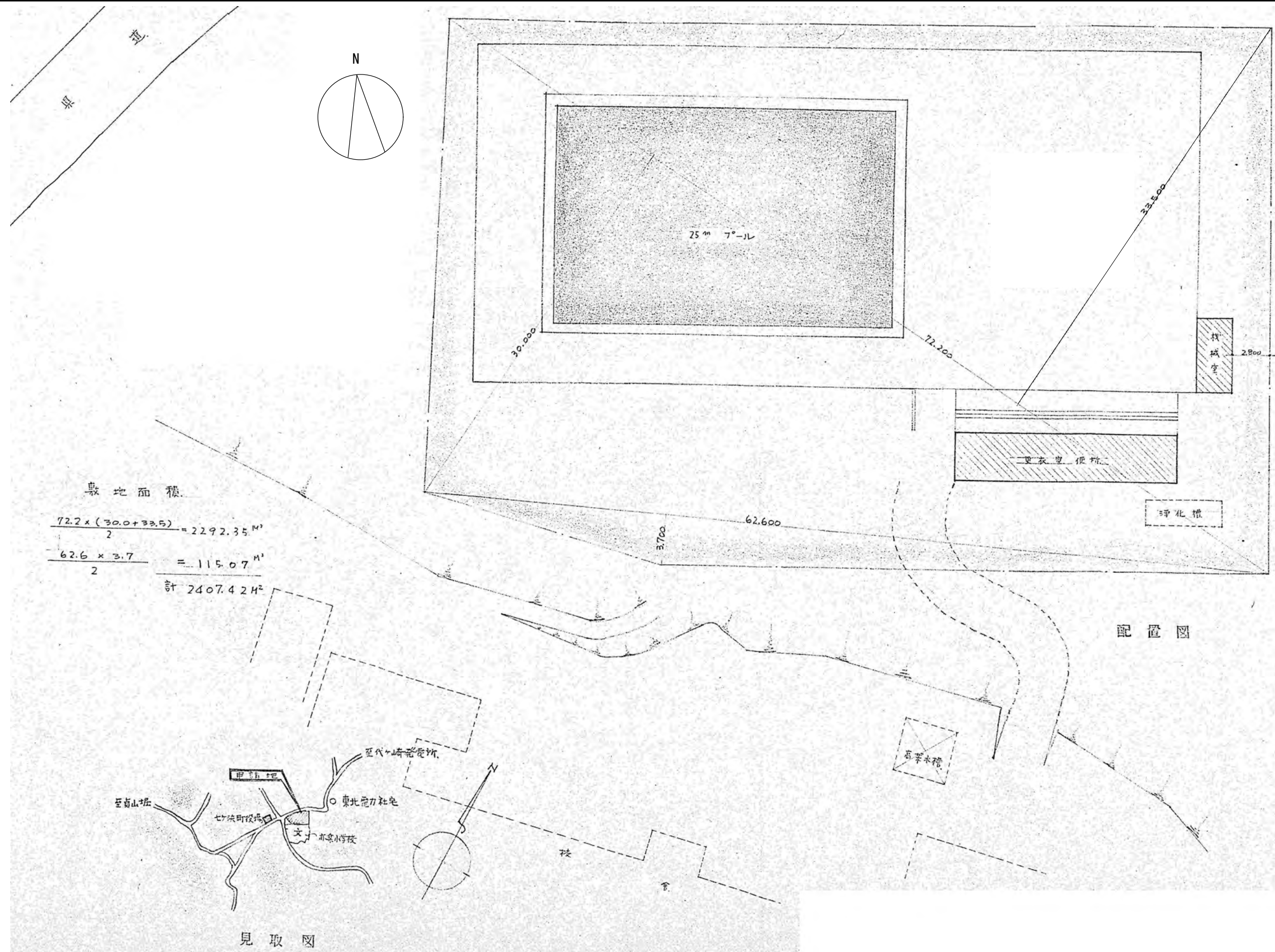
内 部 仕 上

	床	巾	木	壁	天	井	備	考
更衣室棟								
1. 更衣室	モルタル金ゴテ目地切		モルタル金ゴテ H=100		CB0150仕仕筋 ベニヤ板格外放	木毛板(節0.5%打込白セメント吹付)		換気パイプは断熱ルビール 50φ付
1. 食 所	全 上			モルタル金ゴテ 一部モルタル防水金ゴテ	全 上	全 上		耐水ベニヤマスキュスクリンOP
機械室棟								
1. 機 械 室	モルタル金ゴテ目地切			全 上	全 上	全 上		排水パイプはモルタル防水
1. 倉 庫	全 上			全 上	全 上	全 上		

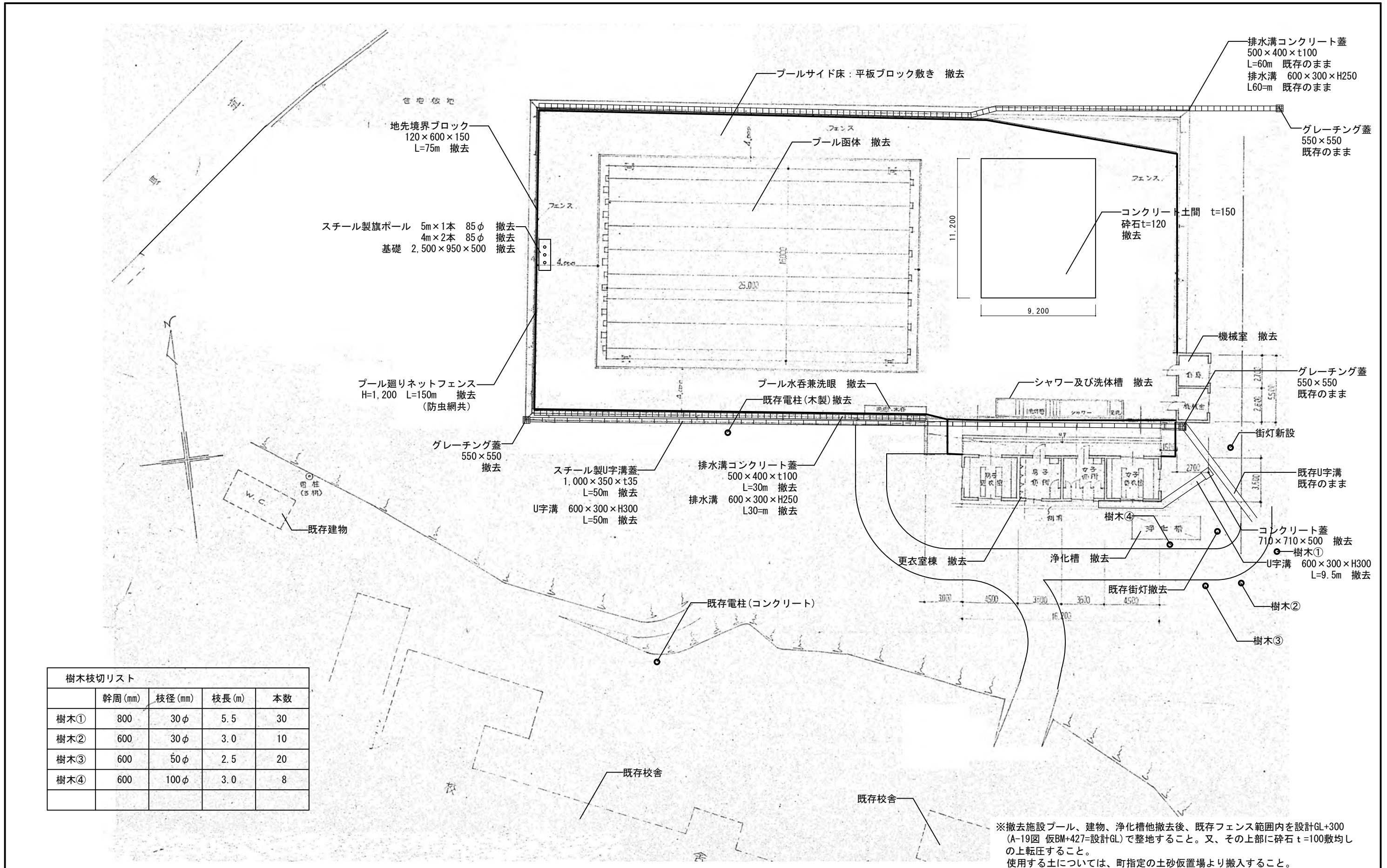
註 プール施設は下記のとおり取扱い

エースナンバータイル (正面)	150×150	1枚組	14ヶ所	水深表示タイル	75角	6ヶ所
" (サイド用)	108×108		28ヶ所	距離 "	50角 文字入	75角 8ヶ所
インスリップタイル (エプロン型)	150×75	2枚組	14ヶ所	センター表示 "	75角	2ヶ所
" (平型)	150×150	4枚組	14ヶ所			

記 事			工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事		設計年月	平成30年9月
			図面名称	工事概要及内外部仕上表		縮尺	A2: -/- A4: -/-
			印			図面番号	A-03

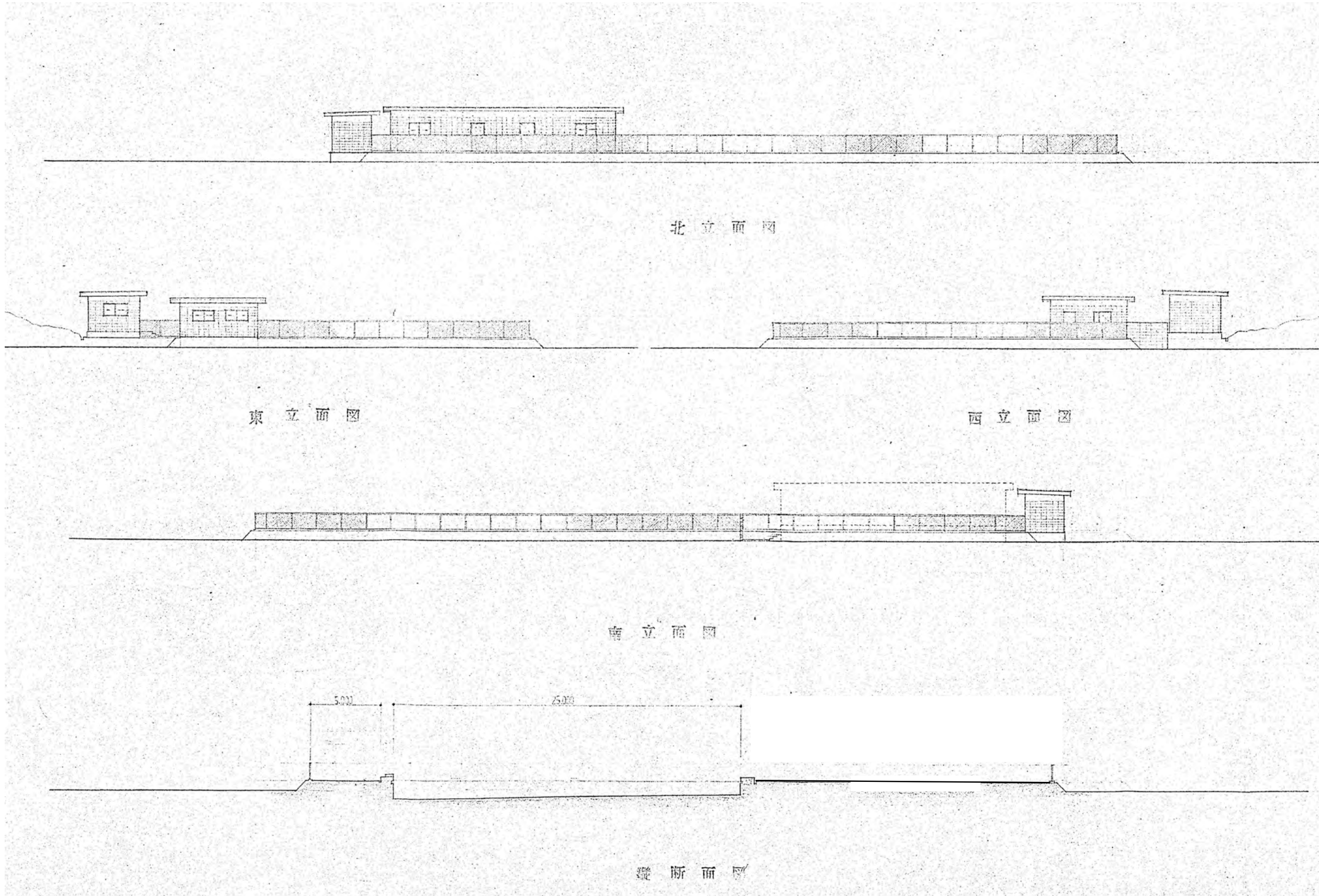


記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 見取図・配置図	縮尺 A2 : 1/200 A4 : 1/400
				図面番号 A - 04

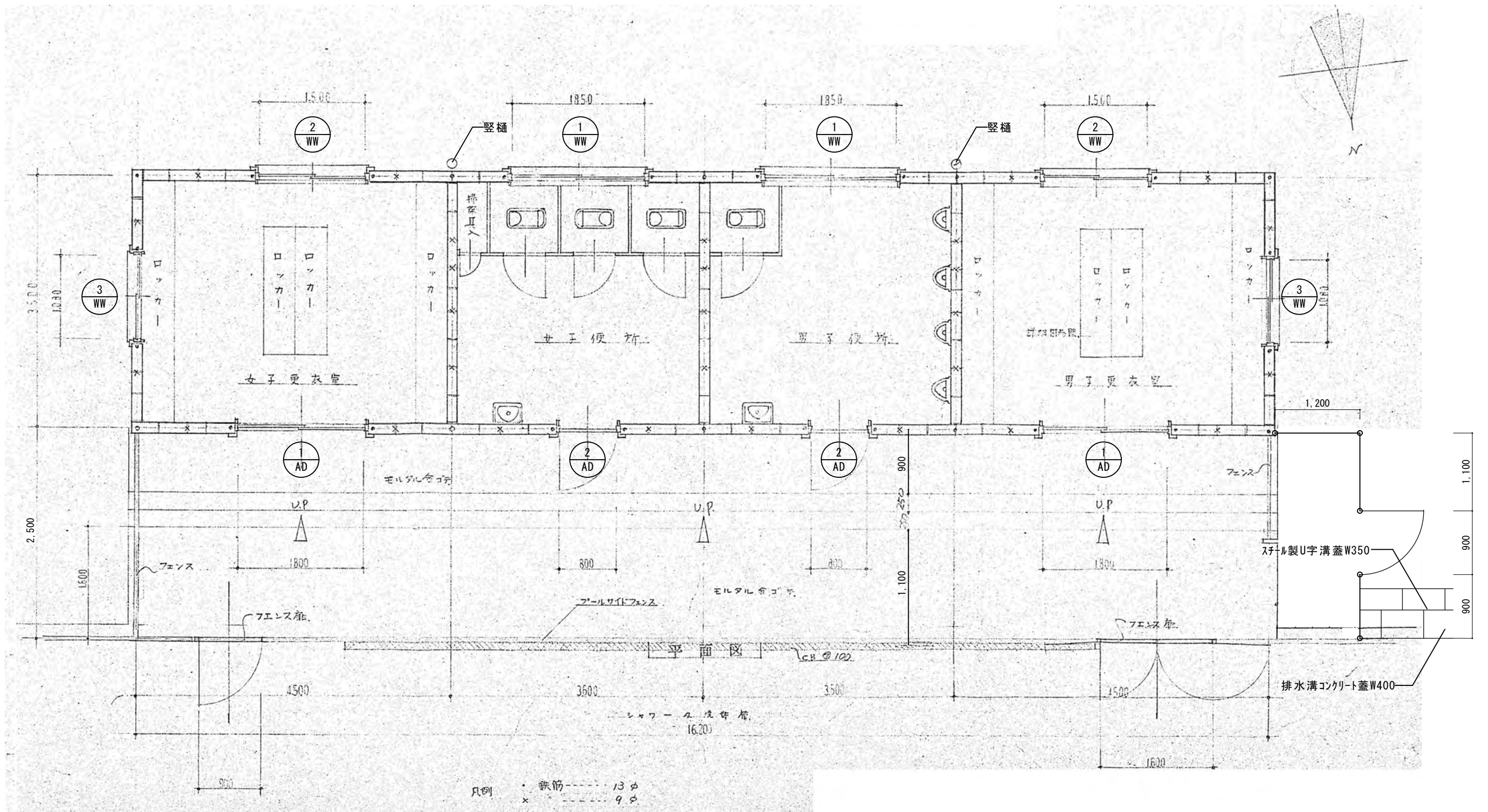


樹木枝切りリスト				
	幹周(mm)	枝径(mm)	枝長(m)	本数
樹木①	800	30φ	5.5	30
樹木②	600	30φ	3.0	10
樹木③	600	50φ	2.5	20
樹木④	600	100φ	3.0	8

記 事			工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年9月
			図面名称	配置図	縮尺	A2 : 1/200 A4 : 1/400
			印		図面番号	A - 05

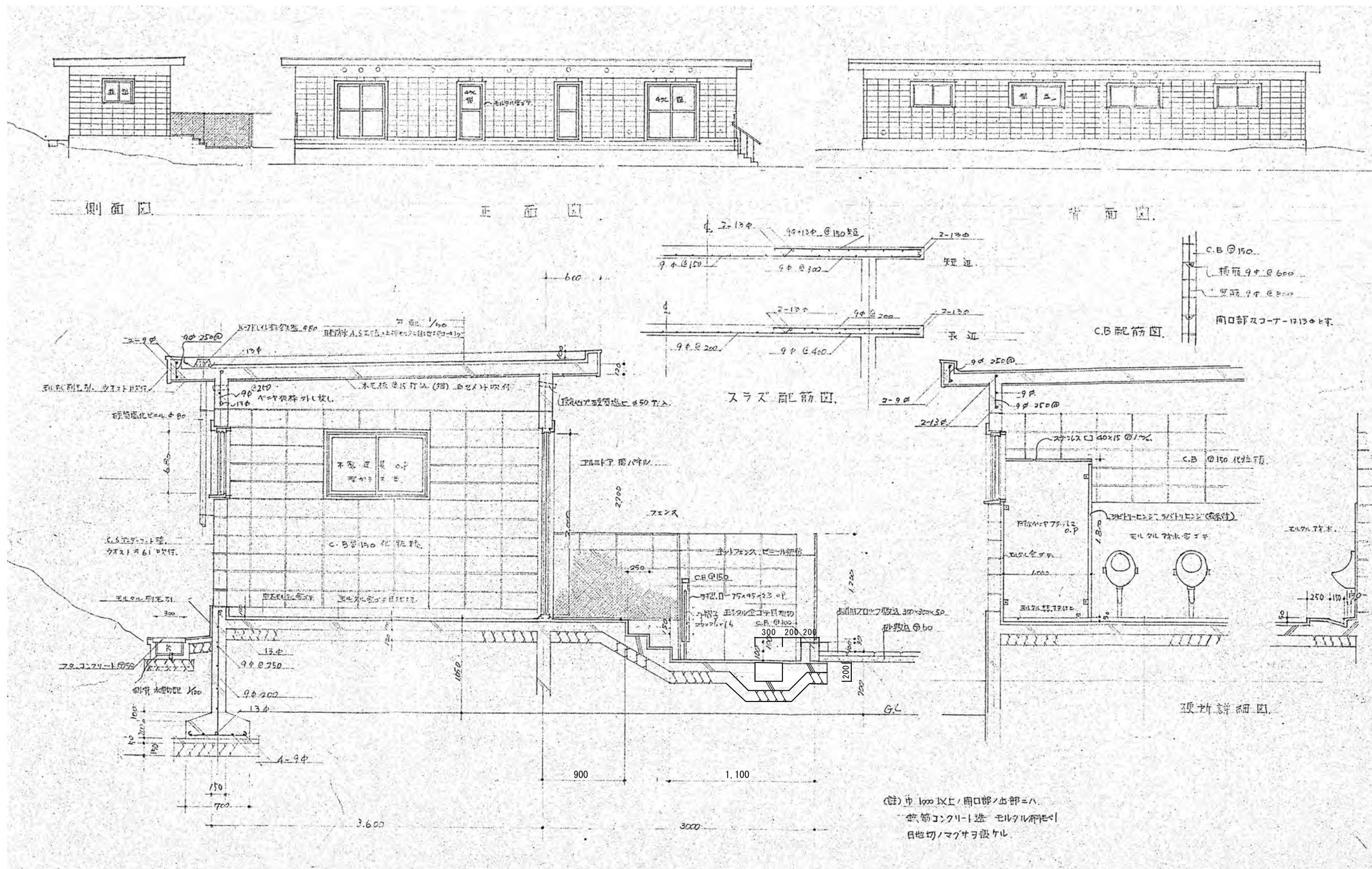


記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 立面図・断面図	縮尺 A2 : 1/200 A4 : 1/400
				図面番号 A - 06



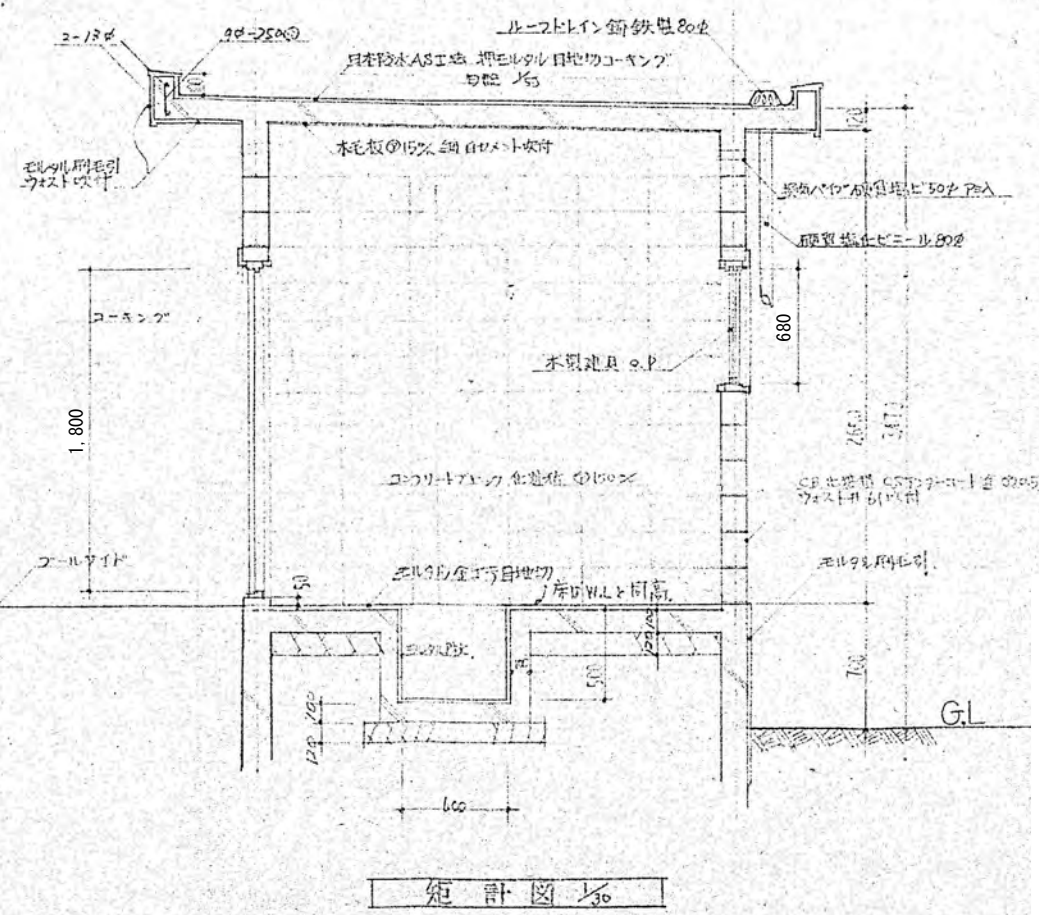
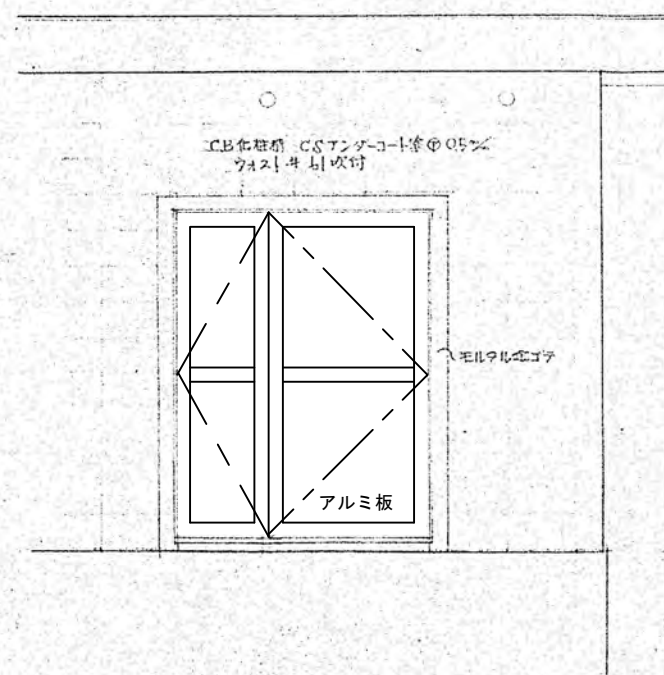
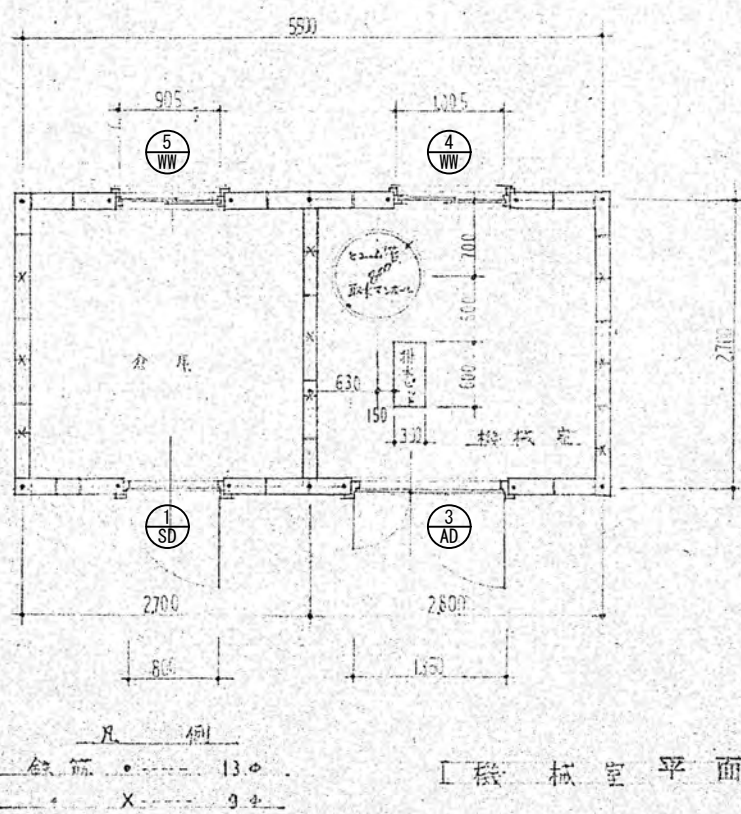
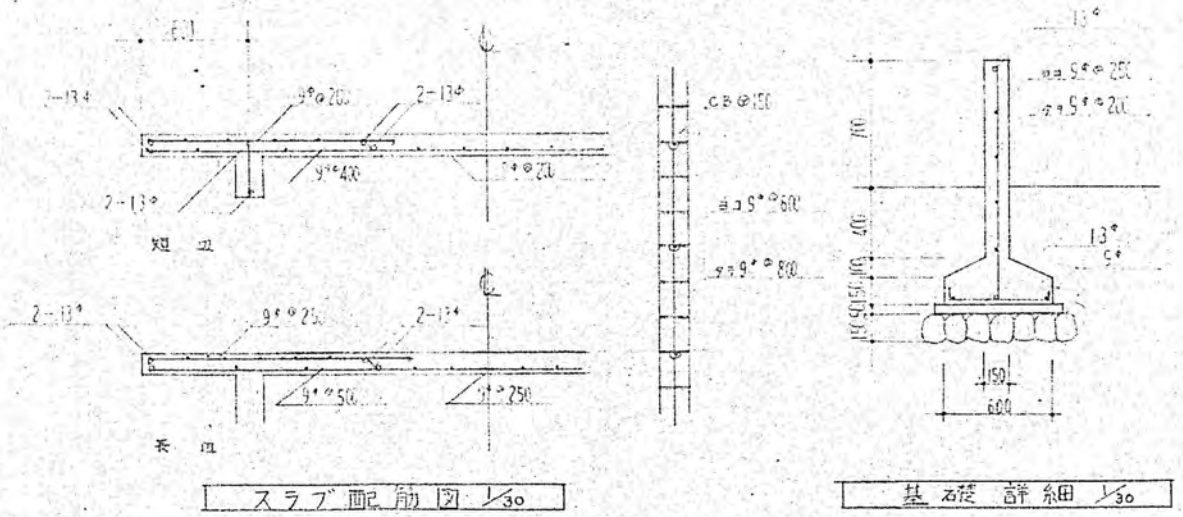
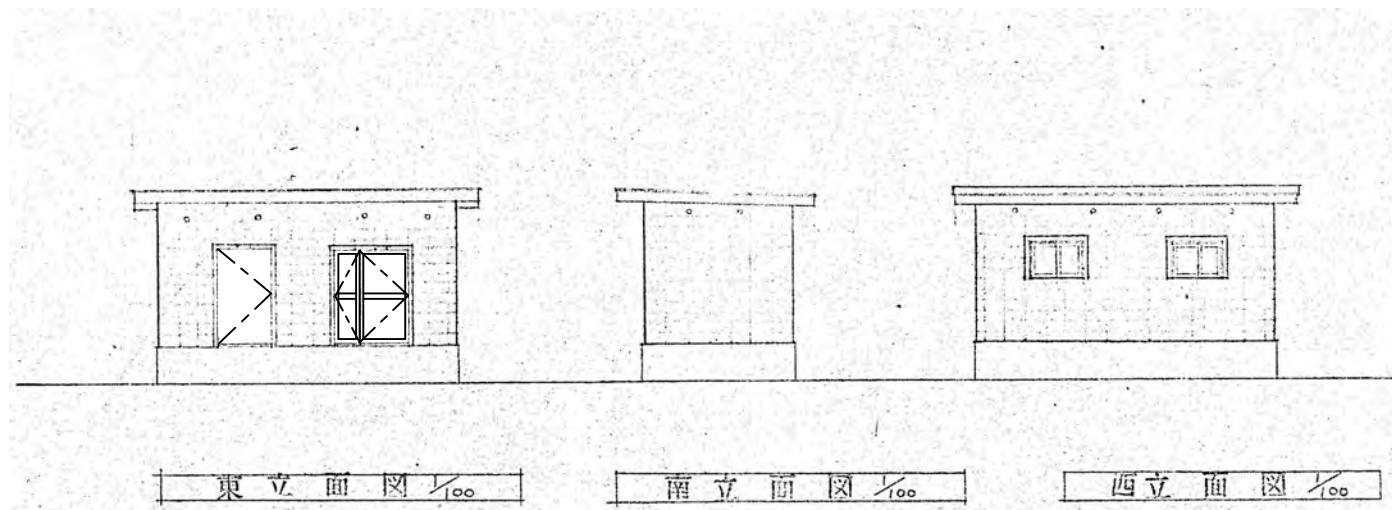
※外壁塗装材については、調査の結果アスベストの含有はありません。
 ※照明器具蛍光灯の安定器については、調査の結果PCBの含有はありません。

記 事		工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年9月
		図面名称	更衣室棟 平面図	縮尺	A2 : 1/40 A4 : 1/80
		印		図面番号	A-07



※外壁塗装材については、調査の結果アスベストの含有はありません。
 ※照明器具蛍光灯の安定器については、調査の結果PCBの含有はありません。

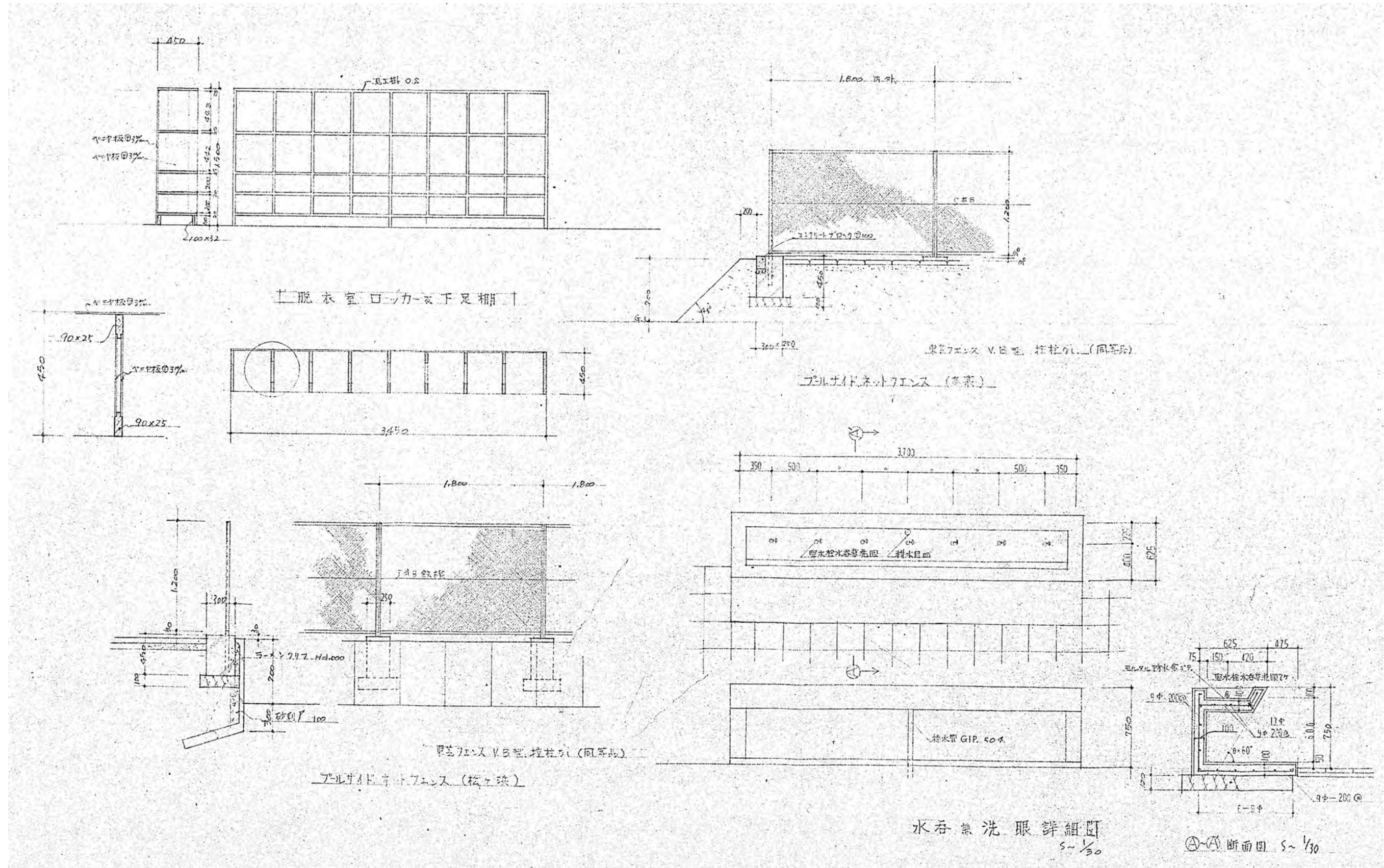
記 事		工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年9月
		図面名称	更衣室棟 矩計図・立面図	縮尺	A2 : 1/30, 100 A4 : 1/60, 200
		印		図面番号	A-08



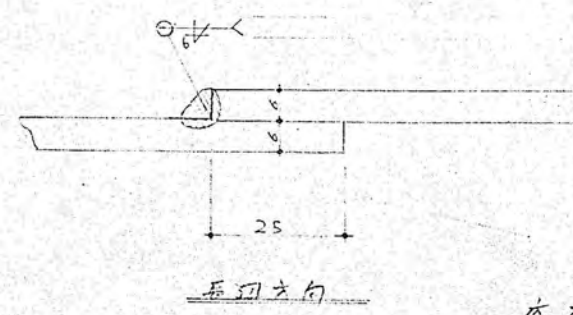
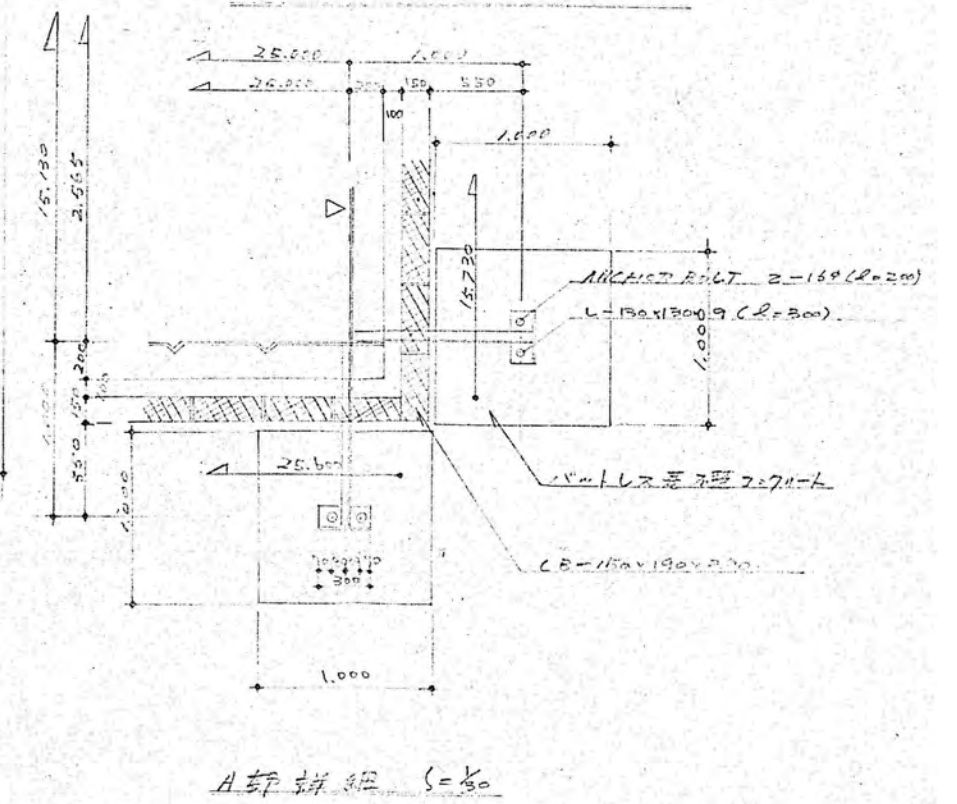
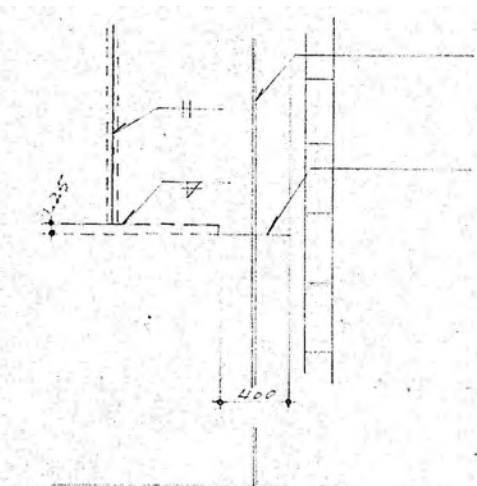
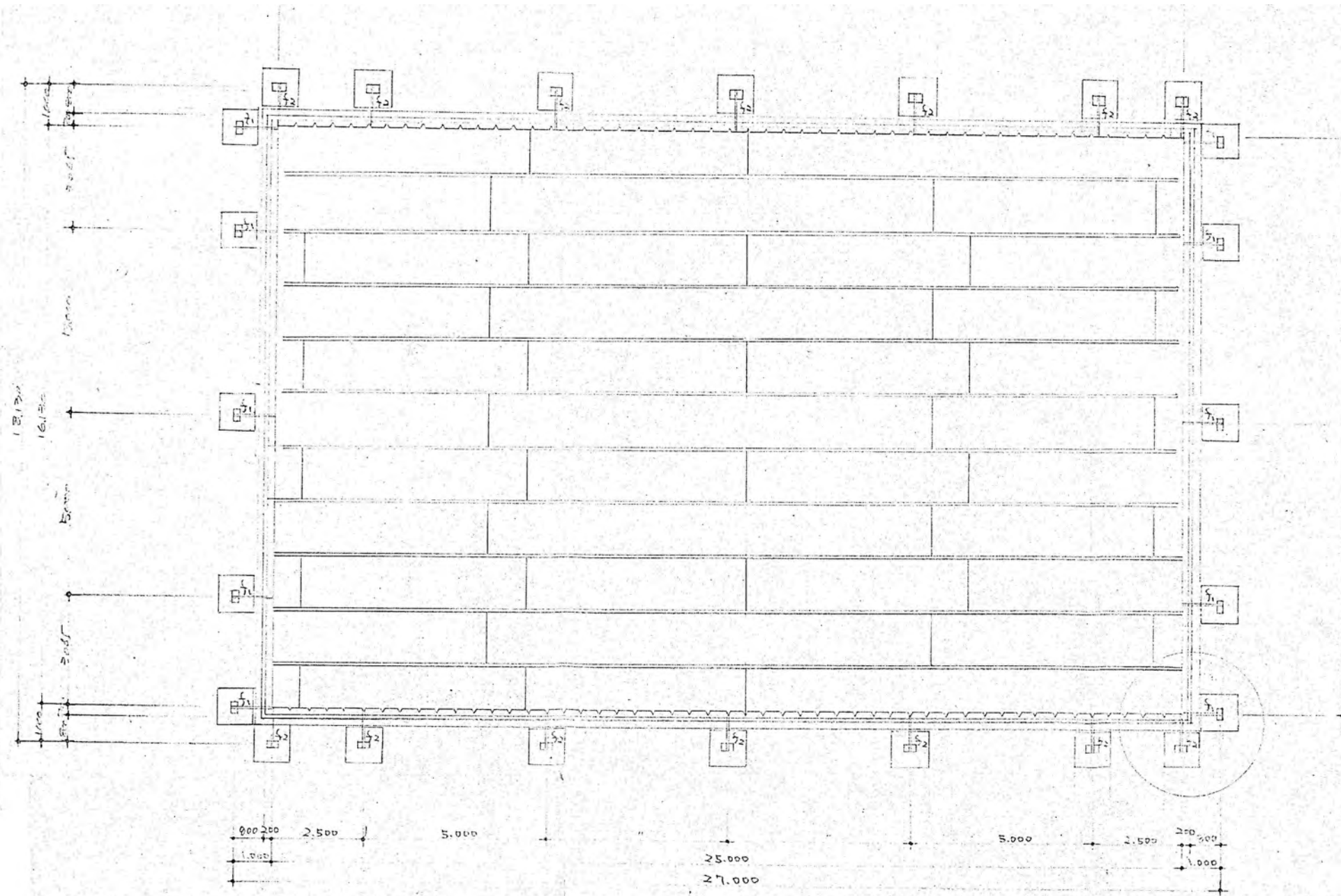
(註) φ 1000以上ノ開口部ノ上部ニハ
鉄筋コンクリート造、モルタル厚引
目地物ノマグサヲ埋ケル。

※外壁塗装材については、調査の結果アスベストの含有はありません。
※照明器具蛍光灯の安定器については、調査の結果PCBの含有はありません。

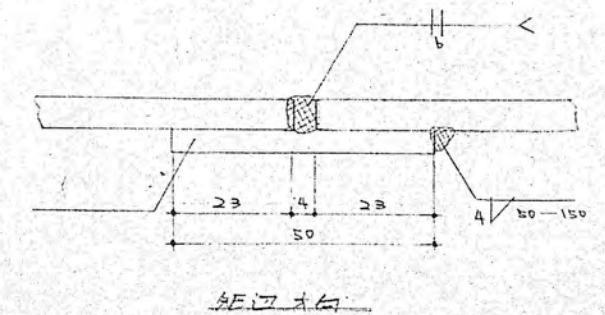
記 事		印	工事名称	設計年月
			平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	平成30年9月
			図面名称	縮尺
			機械室 平面図・立面図・矩形図	A2: 1/30, 50 A4: 1/60, 100
				図面番号
				A-09



記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 プール本体 フェンスロッカーその他詳細図	縮尺 A2 : 1/30 A4 : 1/60
				図面番号 A - 10



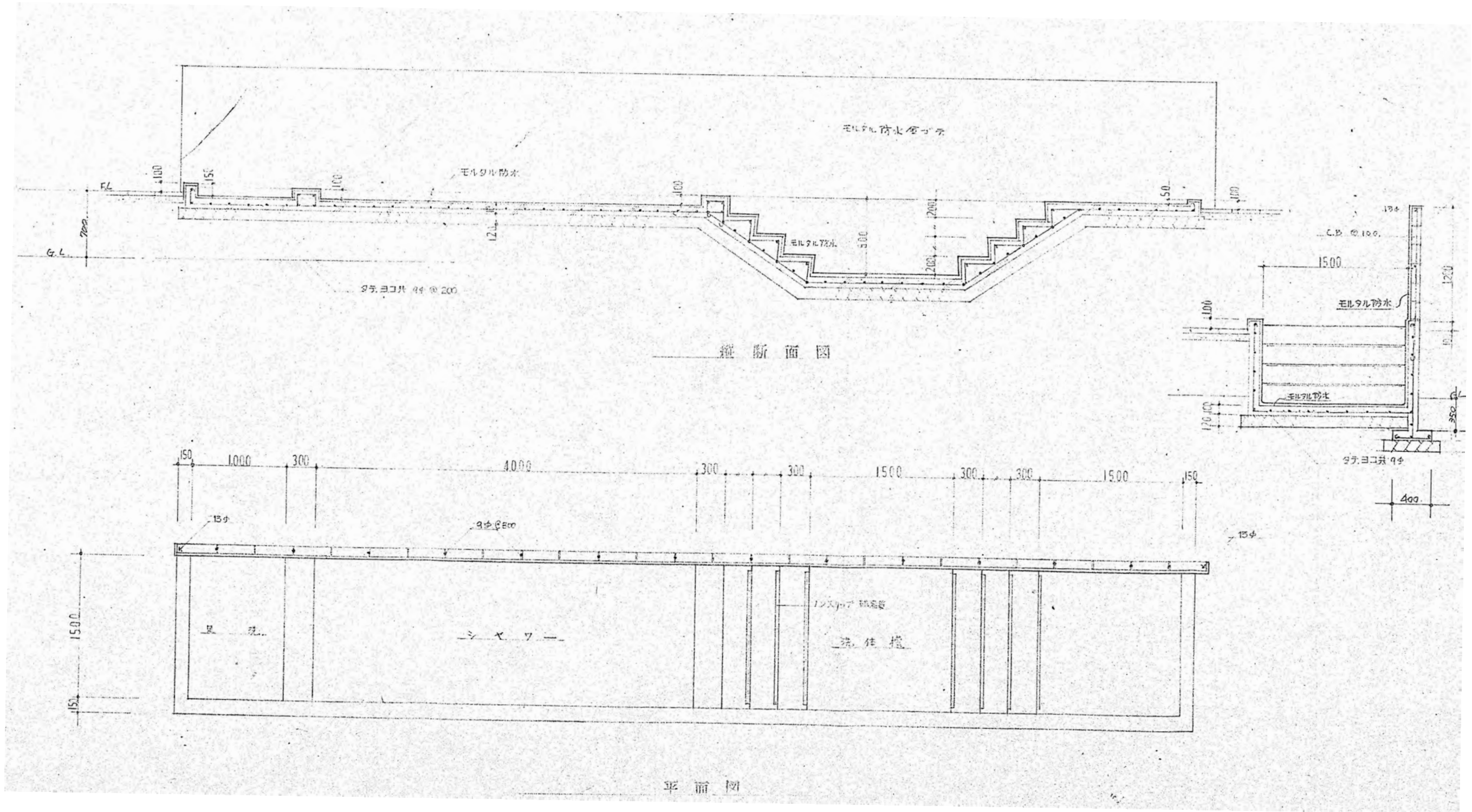
底板接合部



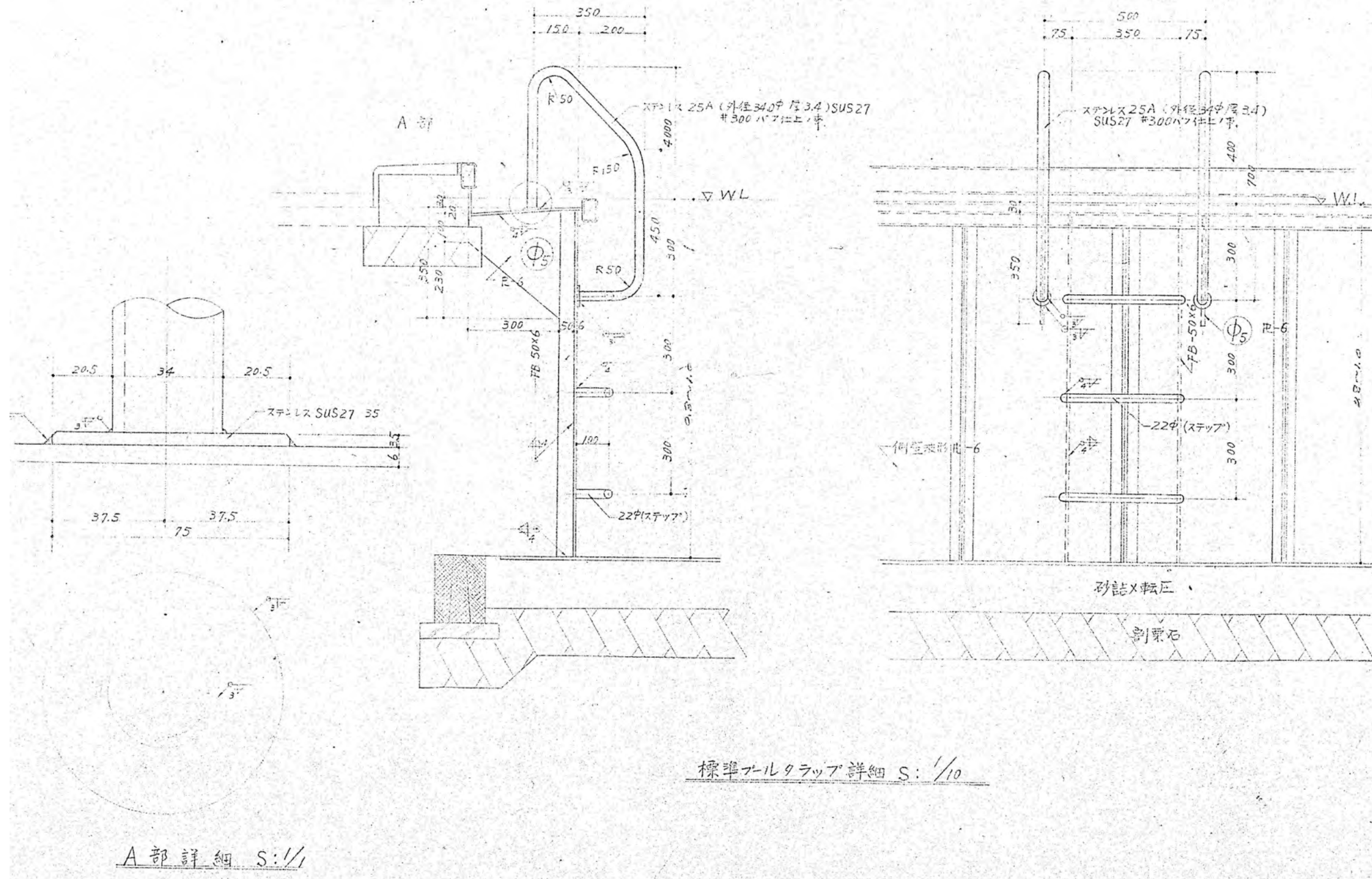
短辺方向

※プールの解体については、搬出可能大きさに切断すること。

記 事				工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
				図面名称 プール本体 詳細図	縮尺 A2: 1/30, 100 A4: 1/60, 200
			印	図面番号 A-11	



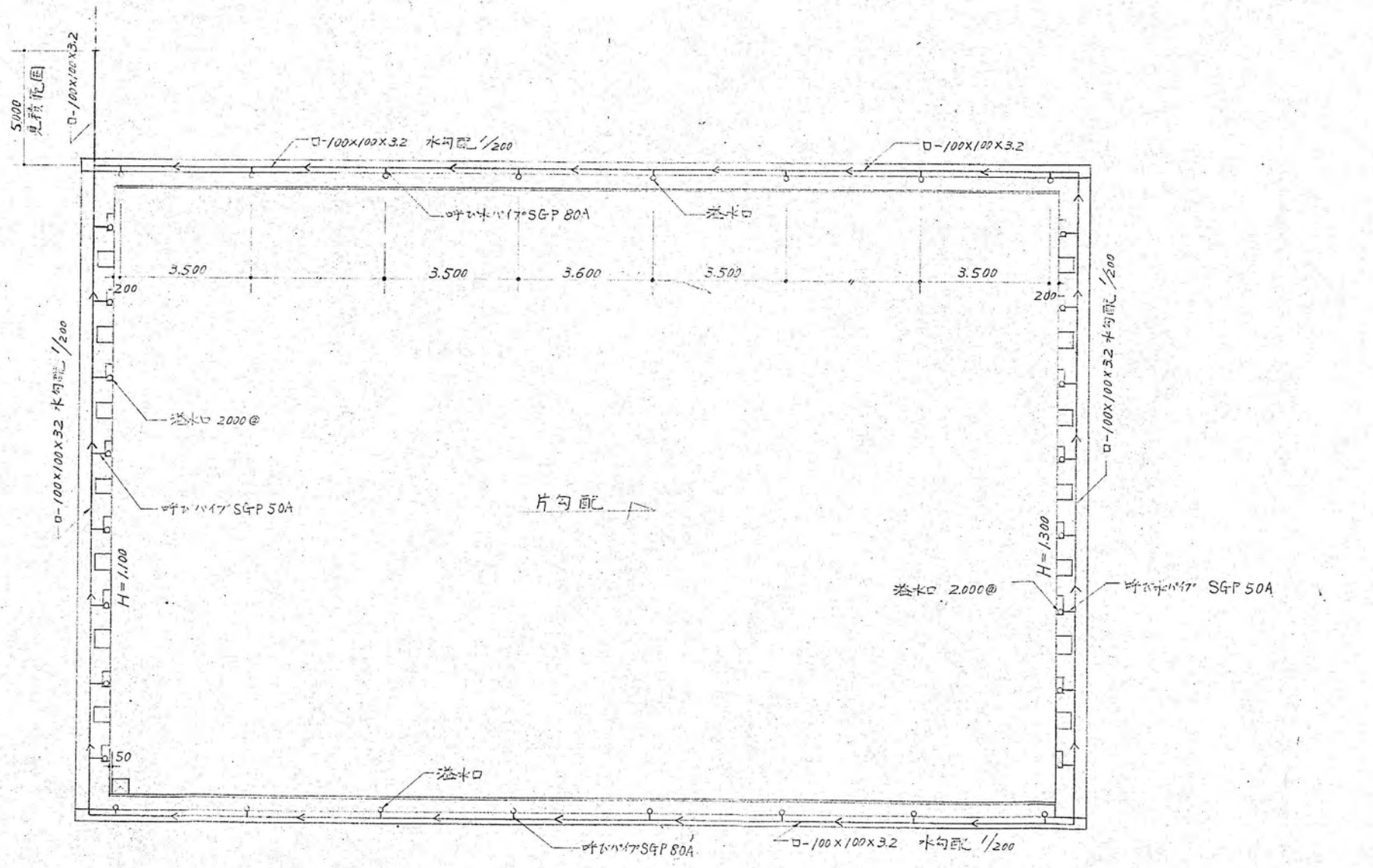
記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 プール本体 長辺方向断面・オーバーフローその他詳細図	縮尺 A2: 1/5, 10 A4: 1/10, 20
				図面番号 A-12



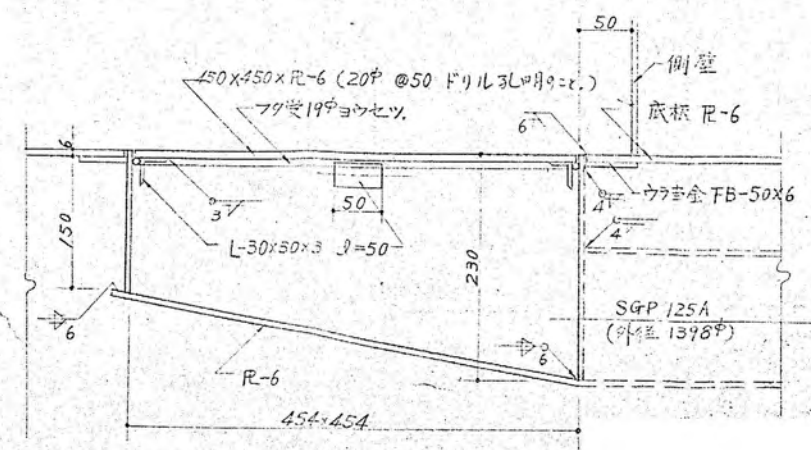
標準プールトラップ詳細 S: 1/10

A部詳細 S: 1/1

記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 プール本体 標準プールトラップ詳細図	縮尺 A2: 1/1, 10 A4: 1/2, 20
				図面番号 A-13

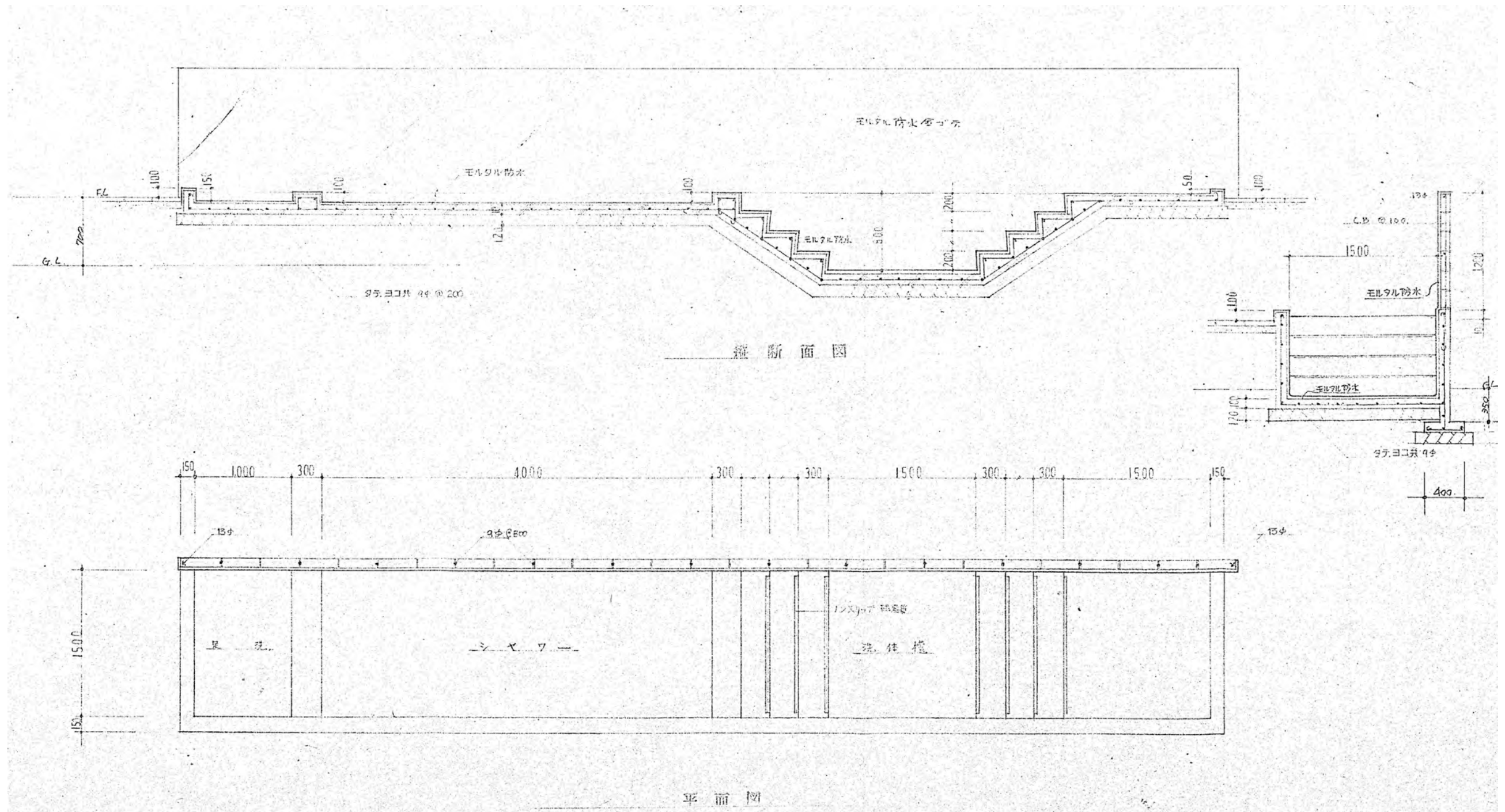


給排水配管系統 S: 1/100



本体配水孔詳細 S: 1/5

記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 プール本体 給排水配管系統図その他	縮尺 A2: 1/5, 100 A4: 1/10, 200
				図面番号 A-14

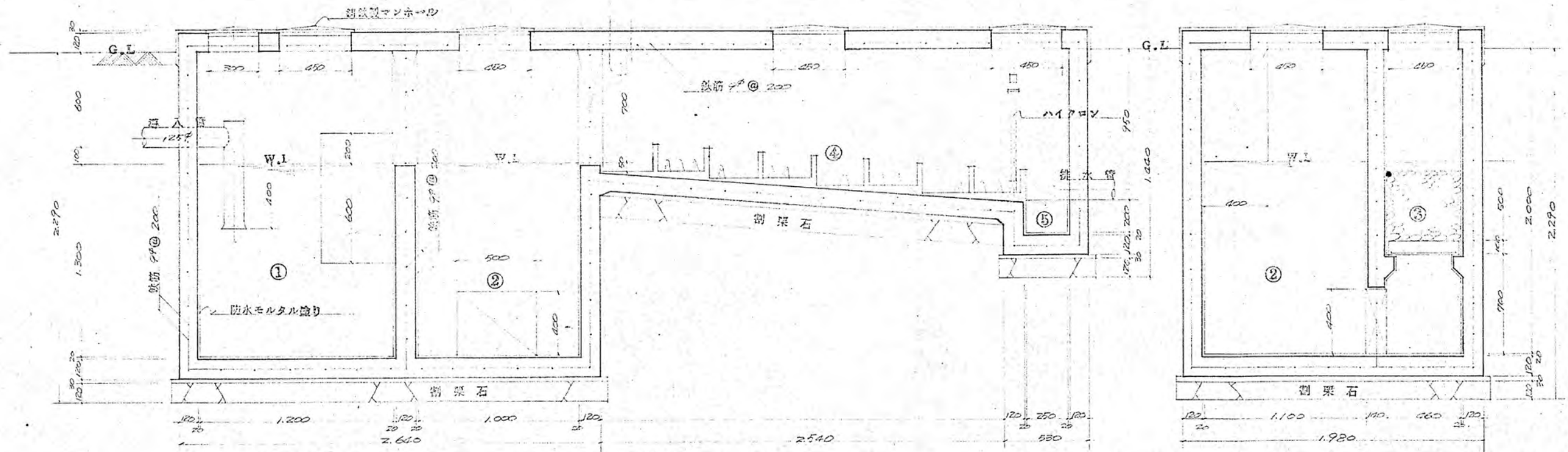


記 事			工事名称 平成30年度 赤楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 シャワー及び洗体槽詳細図	縮尺 A2 : 1/30 A4 : 1/60
				図面番号 A - 15

固定式ベンチレーター

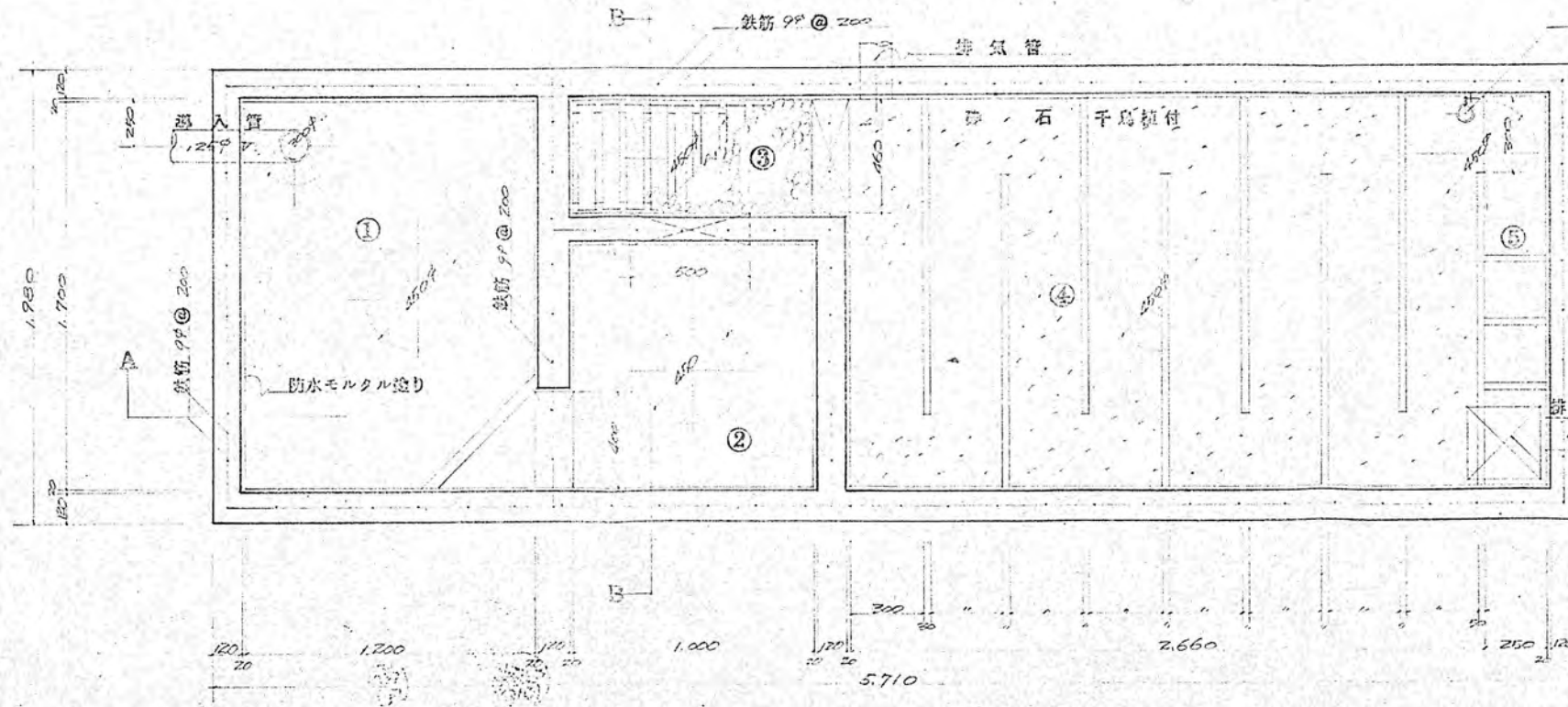
排気管

7F 125φ L=1' H=5M



A~A 断面図

B~B 断面図



平面図 縮尺 1:20

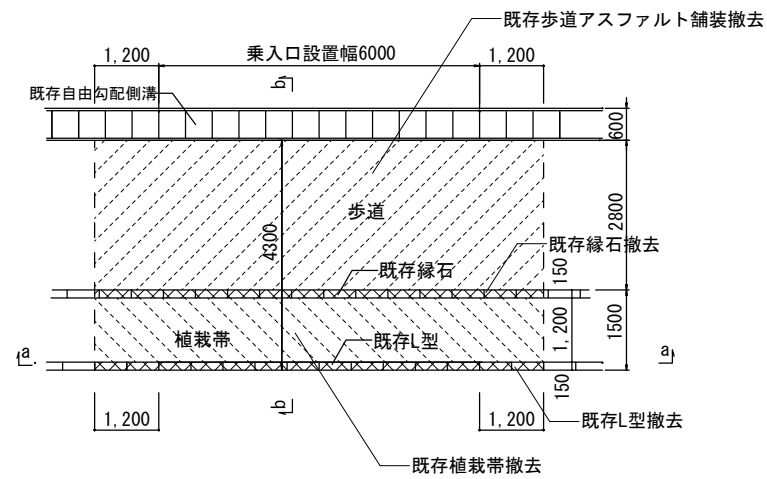
三栄工業 T.K.式し尿浄化槽 50 人相当

名称	寸法	容積
① 第1腐敗槽	1,700 x 1,200 x 1,300	2.652 ^{M³}
② 第2腐敗槽	1,100 x 1,000 x 1,300	1.430 ^{M³}
腐敗槽合計		4.082 ^{M³}
③ 予備汚過槽	1,000 x 0,260 x 1,300	0.598 ^{M³}
④ 酸化槽	1,700 x 2,660	4.522 ^{M³}
⑤ 消毒槽	1,700 x 0,250 x 0,200	0.035 ^{M³}

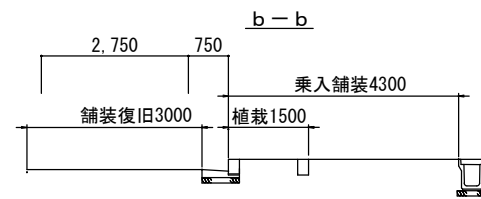
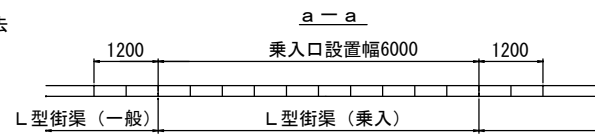
記 事		工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年9月
		図面名称	し尿浄化槽詳細図	縮尺	A2 : 1/20 A4 : 1/40
		印		図面番号	A - 16

符号・形式	① WW 木製引き違い窓		② WW 木製引き違い窓		③ WW 木製引き違い窓		④ WW 木製引き違い窓		⑤ WW 木製引き違い窓		
形状											
▽FL											
場所/数量	女子便所、男子便所	2	女子更衣室、男子更衣室	2	女子更衣室、男子更衣室	2	機械室	1	倉庫	1	
ガラス	型ガラス t4.0		型ガラス t4.0		型ガラス t4.0		型ガラス t4.0		型ガラス t4.0		
備考											
符号・形式	① AD アルミ製引き違い框戸		② AD アルミ製片開き框戸		③ AD アルミ製親子開き框戸				① SD 鋼製片開き戸		
形状											
▽FL	1,800		800		1,350				800		
場所/数量	女子更衣室、男子更衣室	2	女子便所、男子便所	2	機械室	1			倉庫	1	
ガラス	型ガラス t4.0		型ガラス t4.0		-				-		
備考											
符号・形式											
形状											
▽FL											
場所/数量											
ガラス											
備考											
記事							工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事			設計年月 平成30年9月	
							図面名称 建具表			縮尺 A2 : 1/50 A4 : 1/100	
							印			図面番号 A - 17	

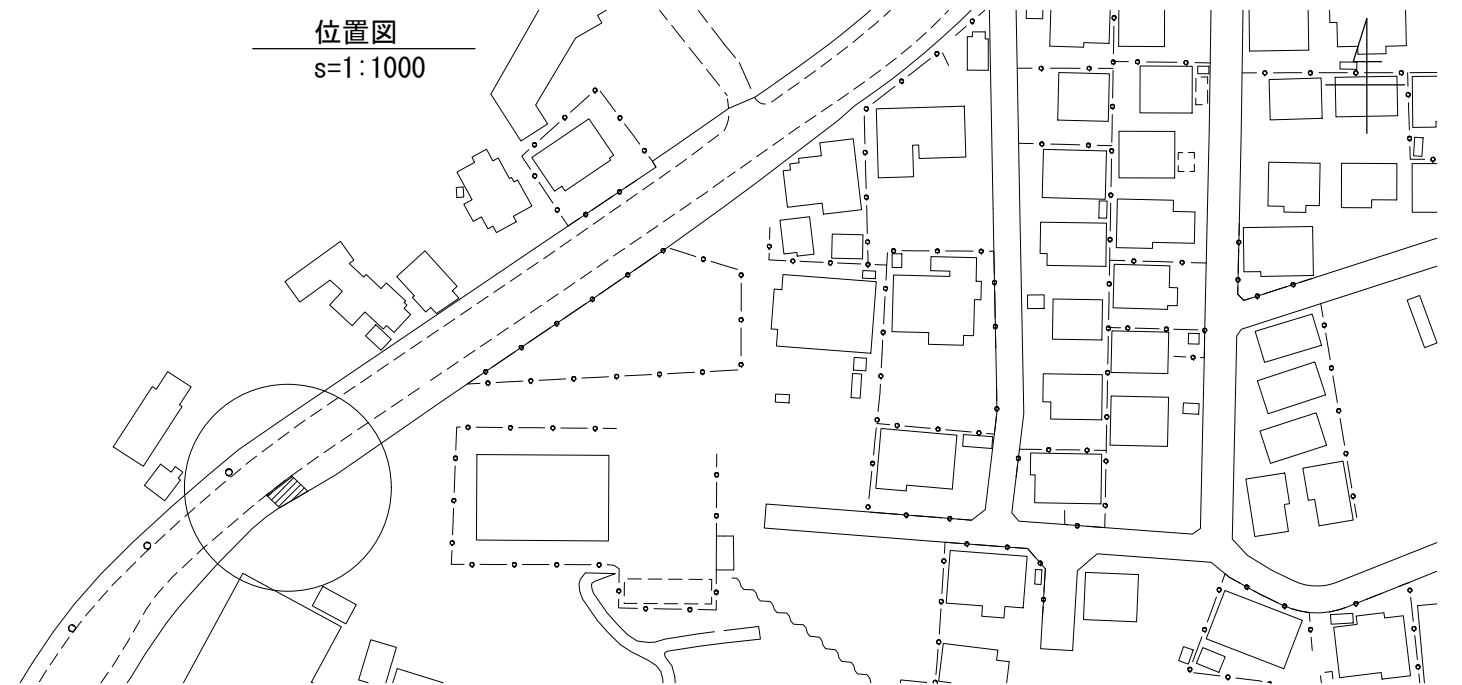
歩道切り下げ部 現況図



平面図(改修前)
s=1:100

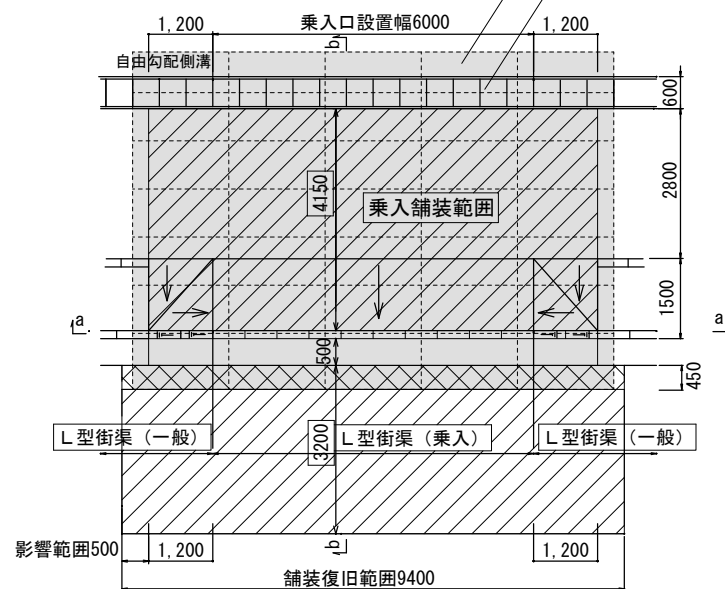


位置図
s=1:1000

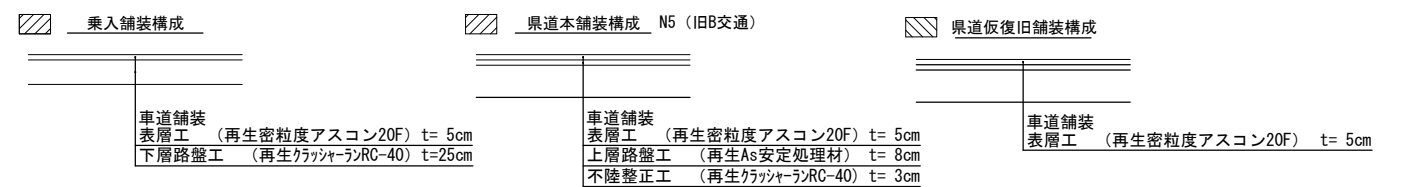
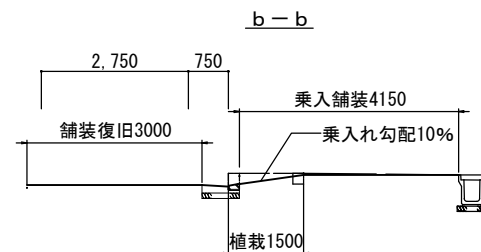
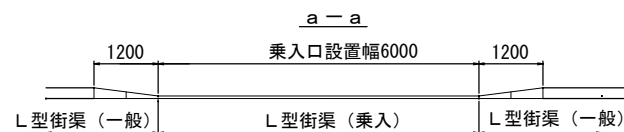


乗入口舗装図

工事中鉄板敷きとする。
(0.9m×1.8m 35枚)
※施工中破損した場合は同等品で復旧すること。

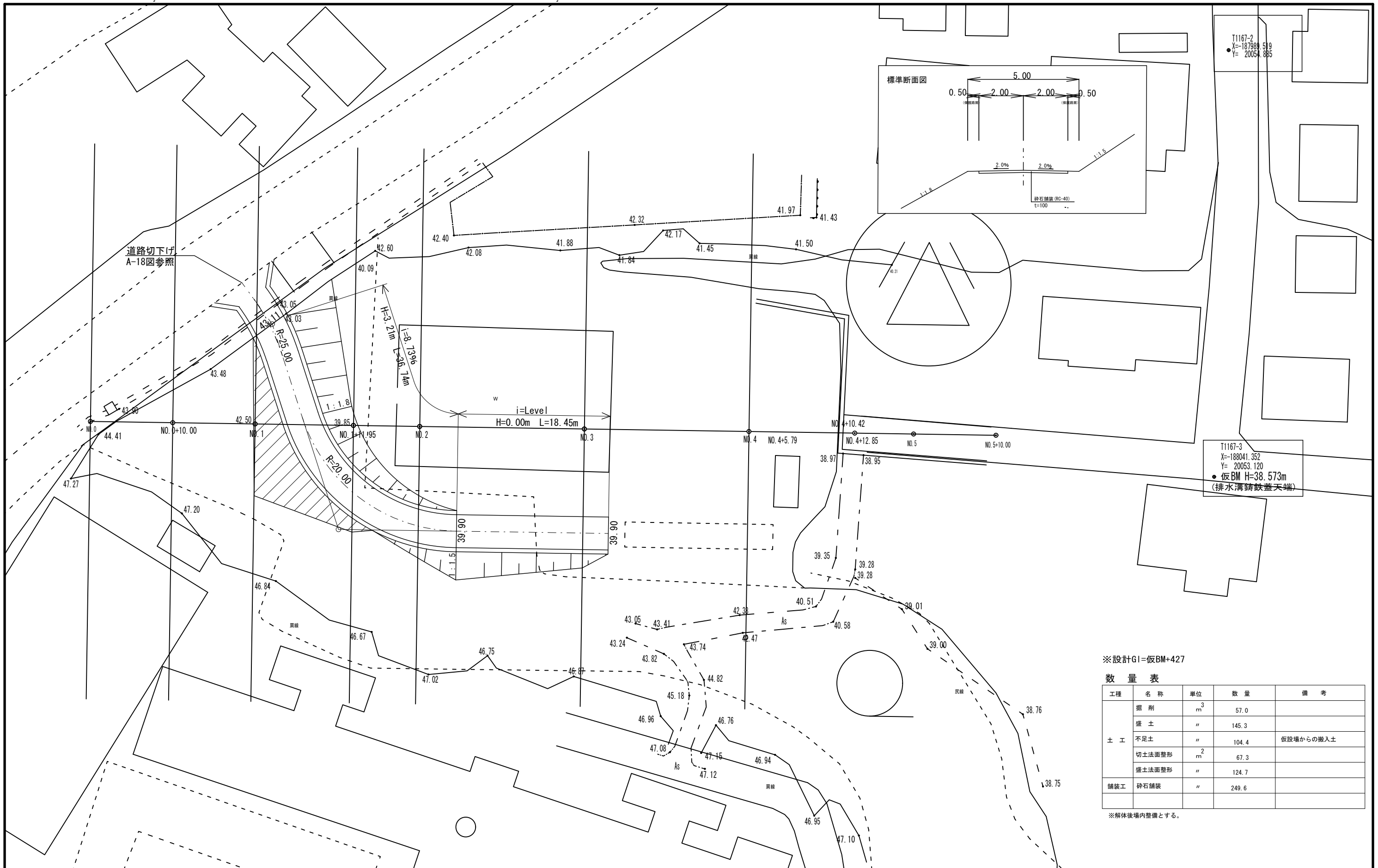


平面図(改修後)
s=1:100



- 乗入舗装構成
- 乗入舗装4150
- 乗入れ勾配10%
- 植栽1500
- 舗装版切断 : $A=8.4 \times 4.15=34.86\text{m}^2$
- 地先境界 : $A=9.4 \times 3.2=30.08\text{m}^2$
- L型側溝(乗入) : $A=9.4 \times 0.45=4.23\text{m}^2$
- L型側溝(一般) : $L=2.8 \times 2 + 3.2 \times 2 = 12.0\text{m}$
- 舗装版切断 : $L=2.8 \times 2 + 3.2 \times 2 = 12.0\text{m}$
- 地先境界 : $L=1.2 \times 2 = 2.4\text{m}$
- L型側溝(乗入) : $L=6.0\text{m}$
- L型側溝(一般) : $L=2.4\text{m}$

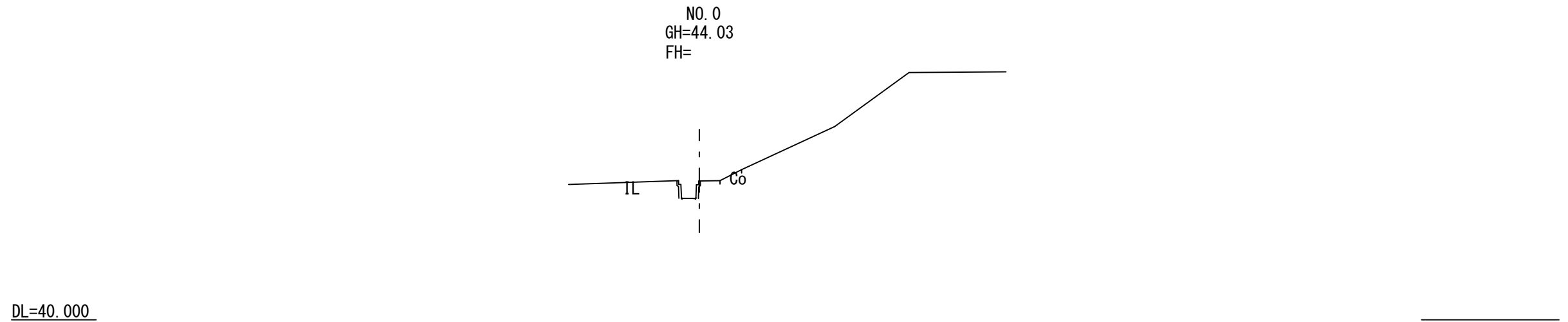
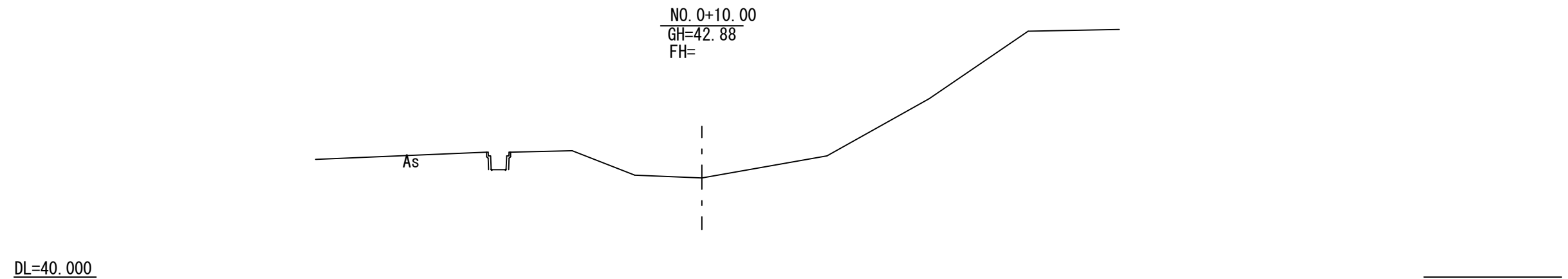
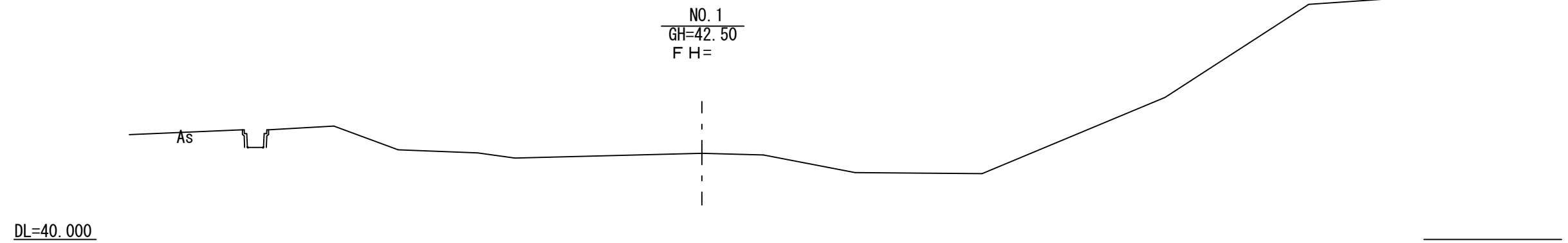
記 事	工事名称		設計年月
	平成30年度 赤楽小学校プール解体工事		平成30年9月
記 事	図面名称		縮尺
	歩道切り下げ新設図		A2 : 1/100 A4 : 1/200
印		図面番号	A - 18



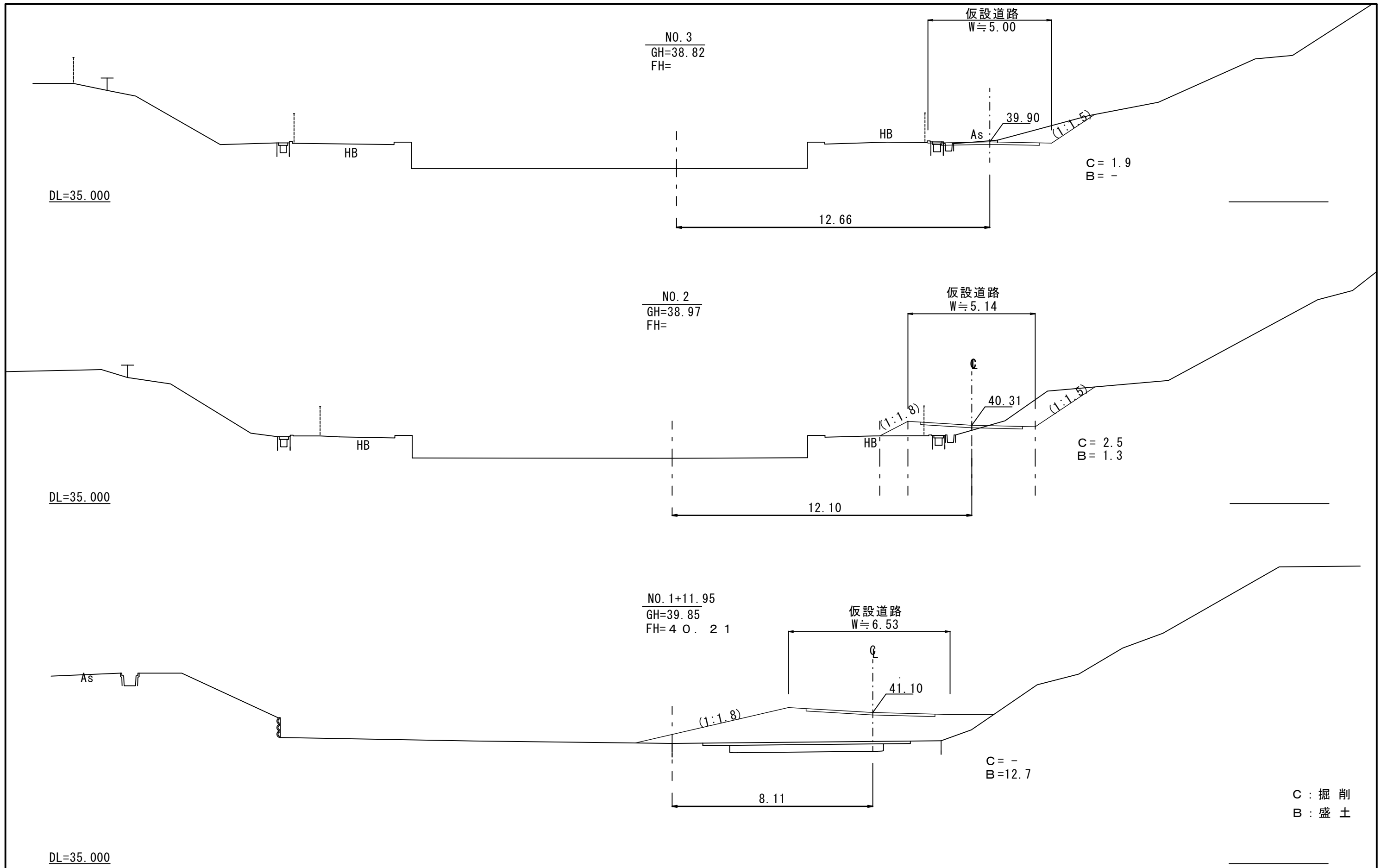
T1167-2
X=-18798.519
Y= 20054.885

T1167-3
X=-188041.352
Y= 20053.120
● 仮BM H=38.573m
(排水溝鉄蓋天端)

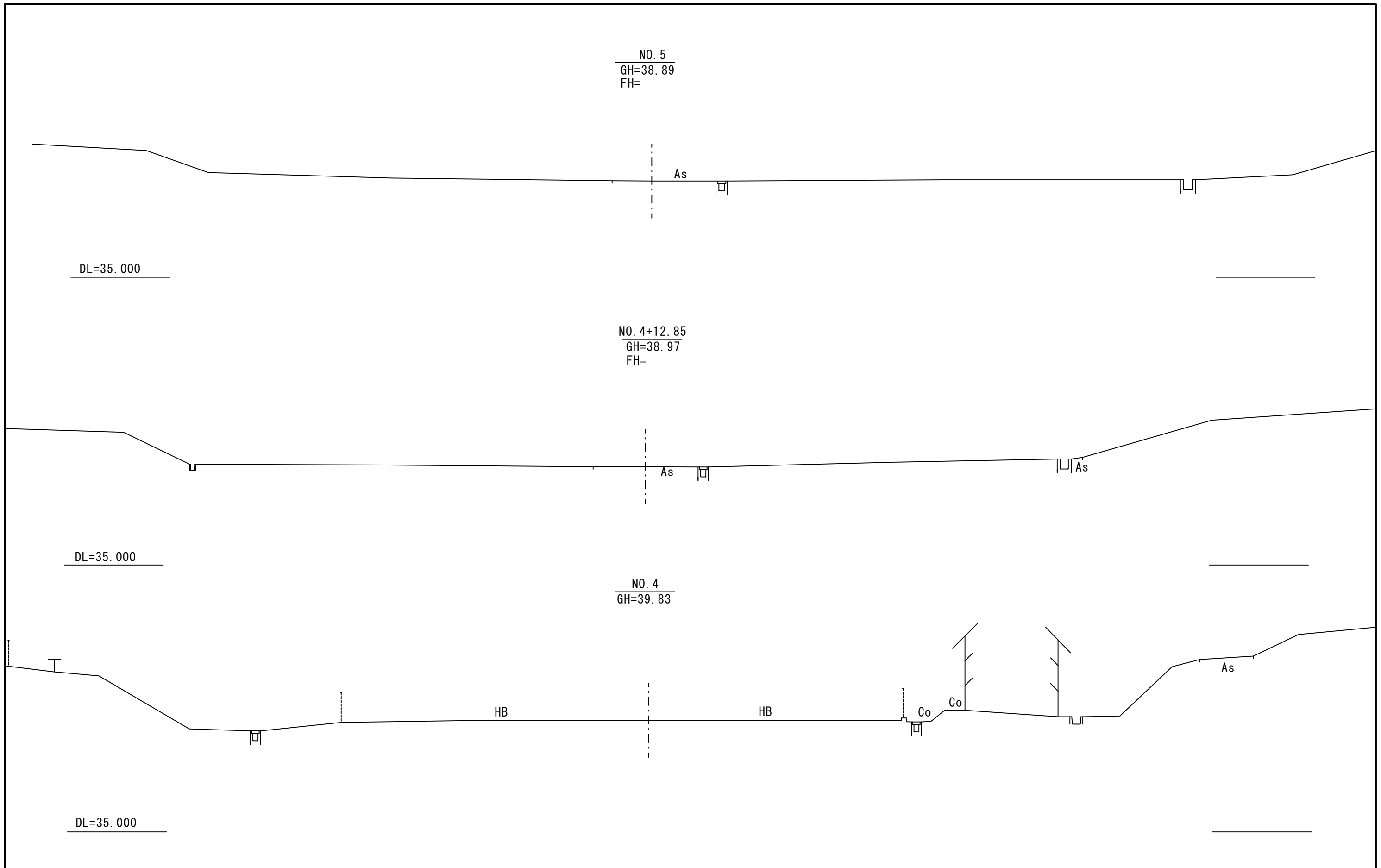
記 事	工事名称 平成30年度亦楽小学校 プール解体工事		設計年月 平成30年 9月
	図面名称 工事用道路設計平面図	縮尺 A2 : 1/300 A4 : -/-	図面番号 A - 19



記 事			工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年 9月
			図面名称	工事用道路横断図 1	縮尺	A2 : 1/100 A4 : -/-
			印		図面番号	A - 20

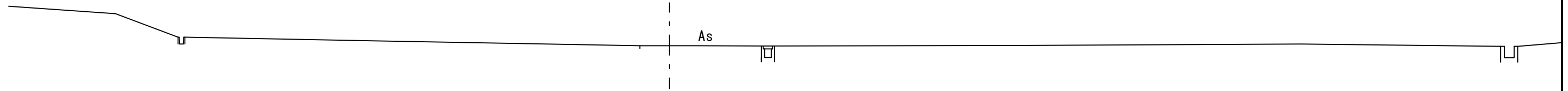


記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年 9月
		印	図面名称 工事用道路横断面図 2	縮尺 A2 : 1/100 A4 : -/-
				図面番号 A - 21



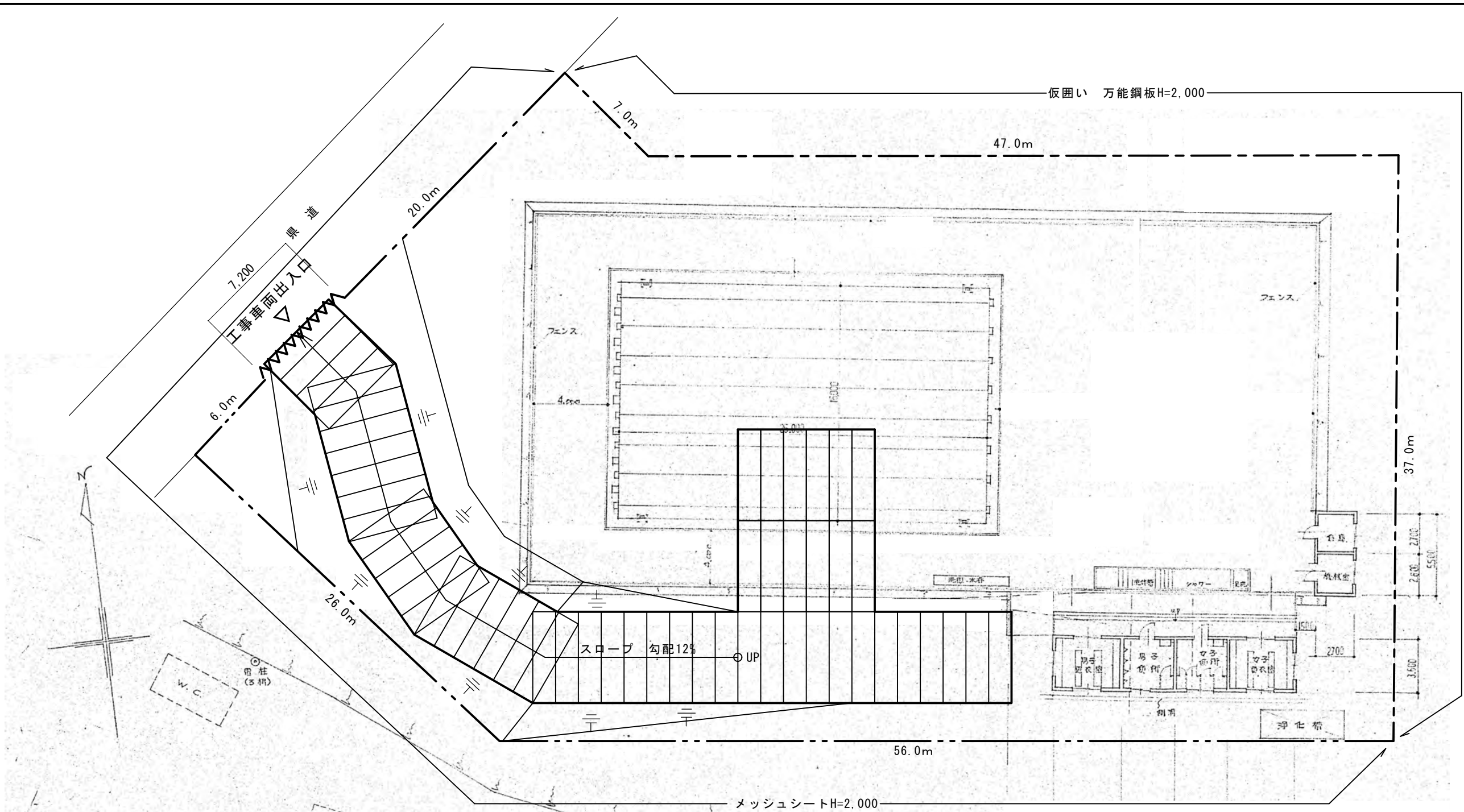
記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年 9月
		印	図面名称 工事用道路横断図 3	縮尺 A2 : 1/100 A4 : -/-
				図面番号 A - 22

NO. 5+10.00
GH=38.81
FH=



DL=35.000

記 事			工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年 9月
			図面名称	工事用道路横断図 4	縮尺	A2 : 1/100 A4 : -/-
			印	.	図面番号	A - 23

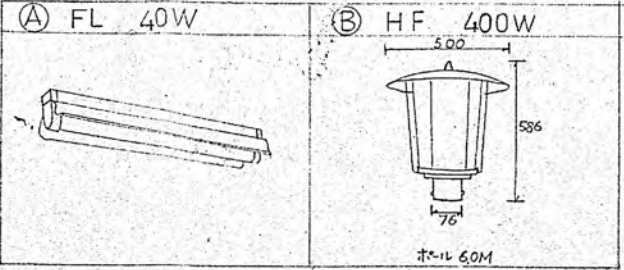
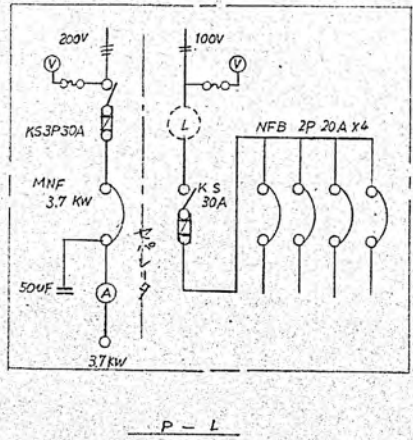
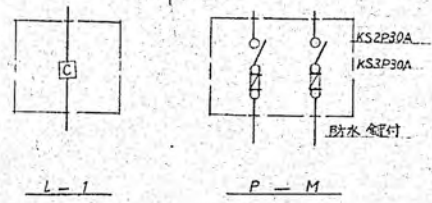
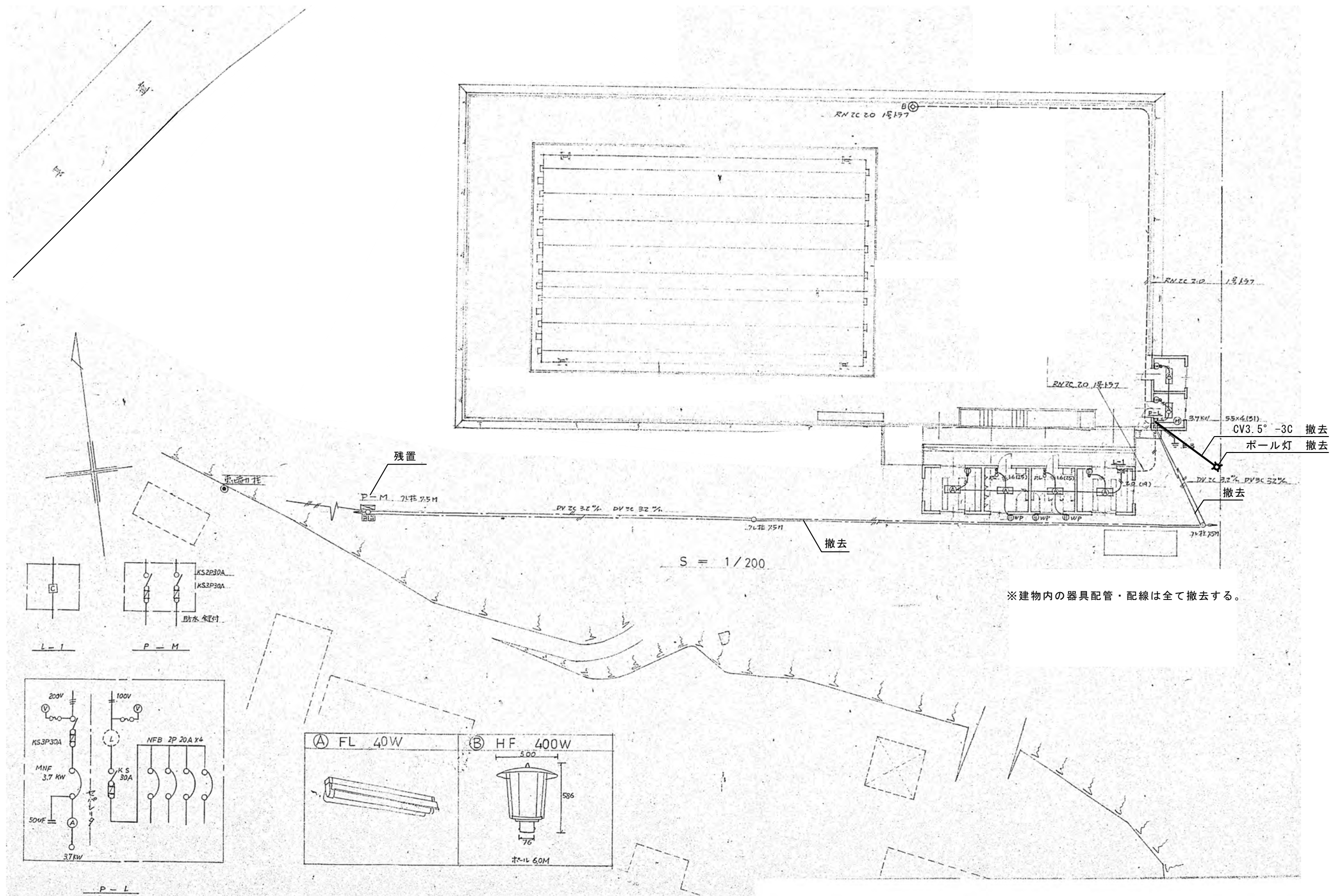


仮囲い 万能鋼板H=2,000

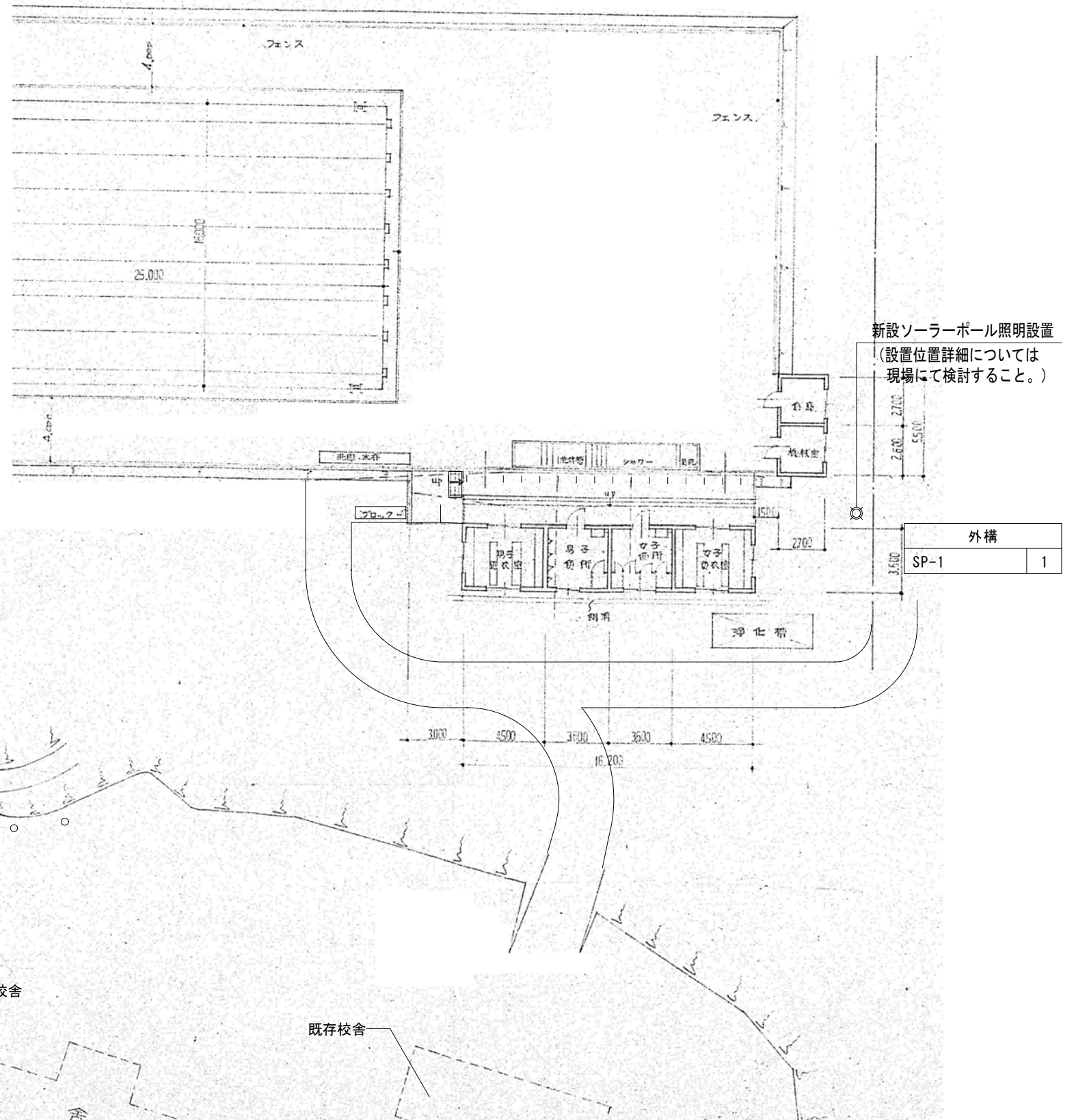
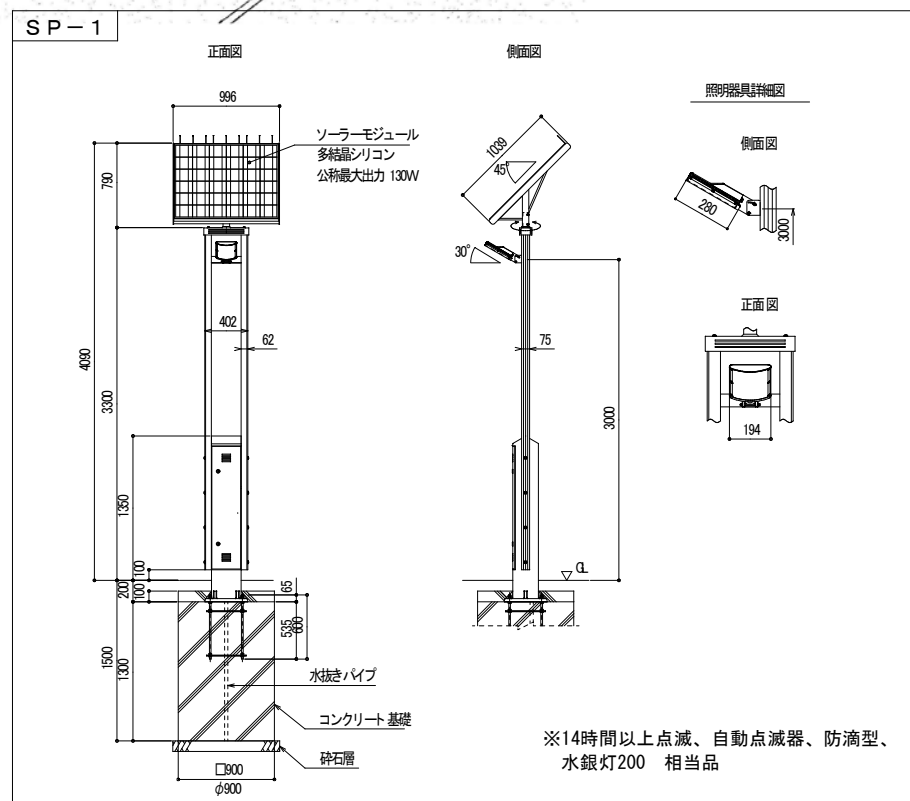
メッシュシートH=2,000

※ 仮設計画凡例		
---	仮囲い(万能鋼板)	H=2,000 L=91m
---	仮囲い(メッシュシート)	H=2,000 L=108m
WWW	パネルゲート	W7,200×H4,500 1カ所
□	鉄板敷き	6,000×1,500×t22 55枚(495㎡)

記 事		工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年9月
		図面名称	仮設計画図	縮尺	A2 : 1/200 A4 : 1/400
		印		図面番号	A - 24

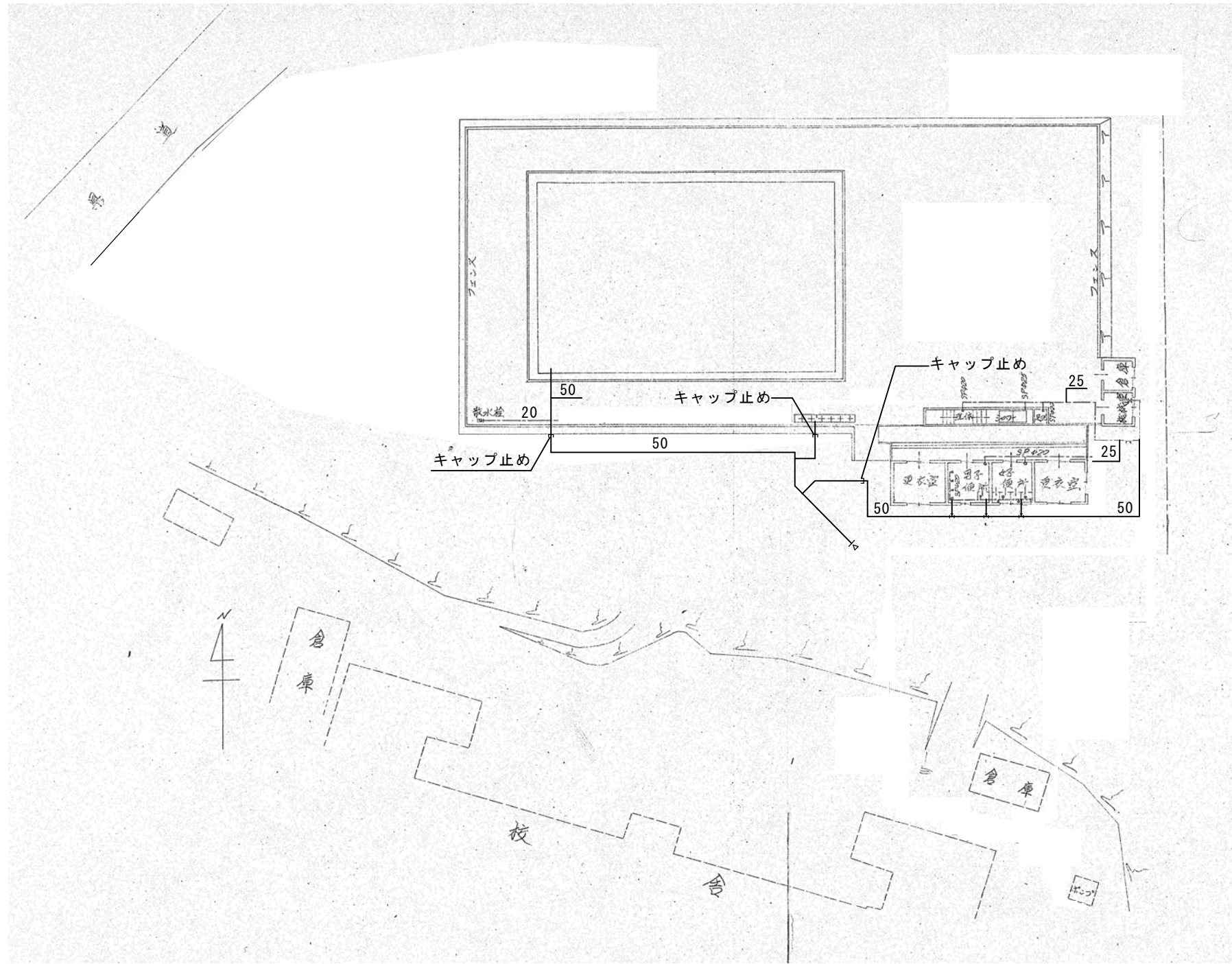



記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
			図面名称 電灯幹線図	縮尺 A2 : 1/200 A4 : 1/400
			印	図面番号 E-01

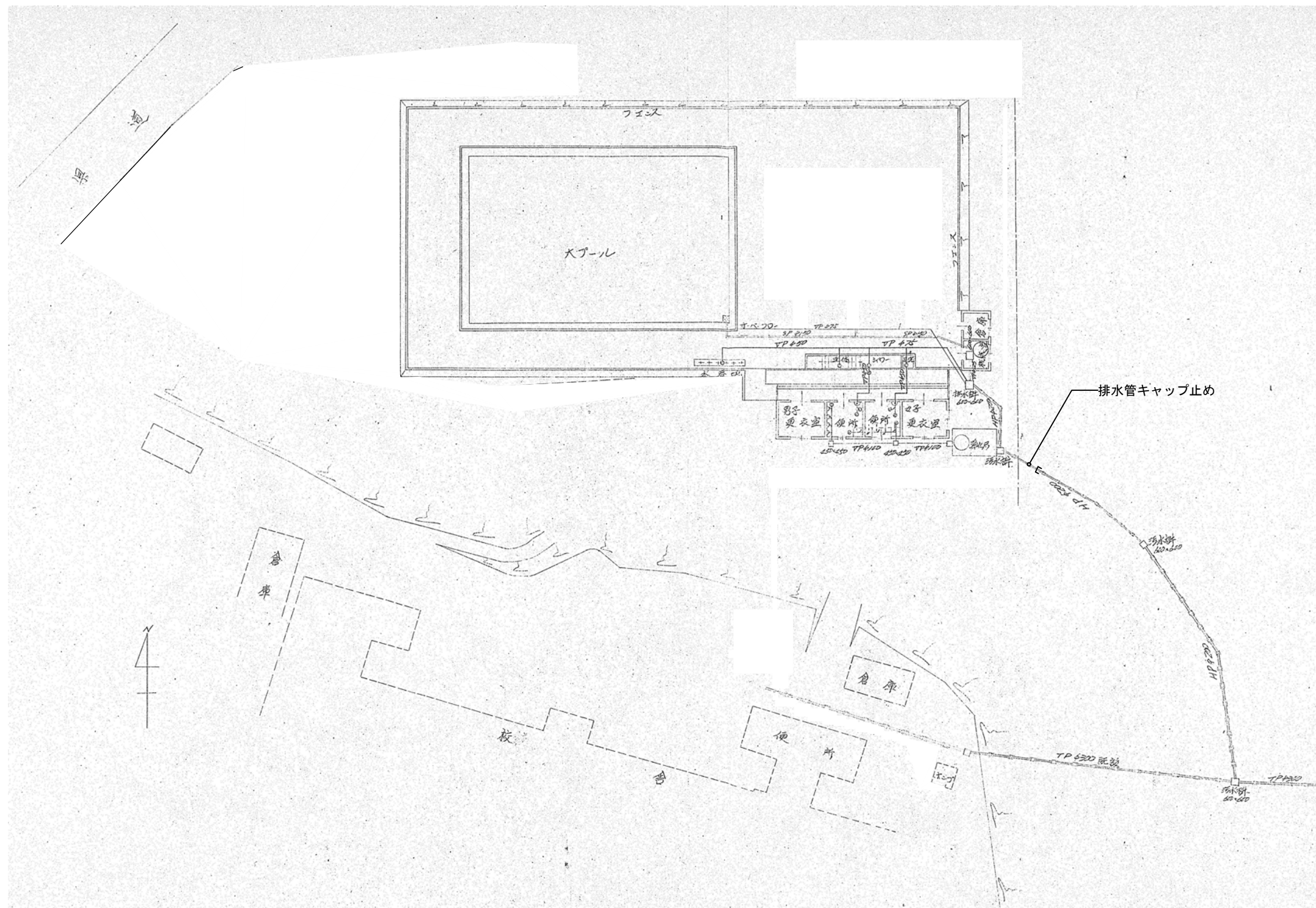



外構	
SP-1	1

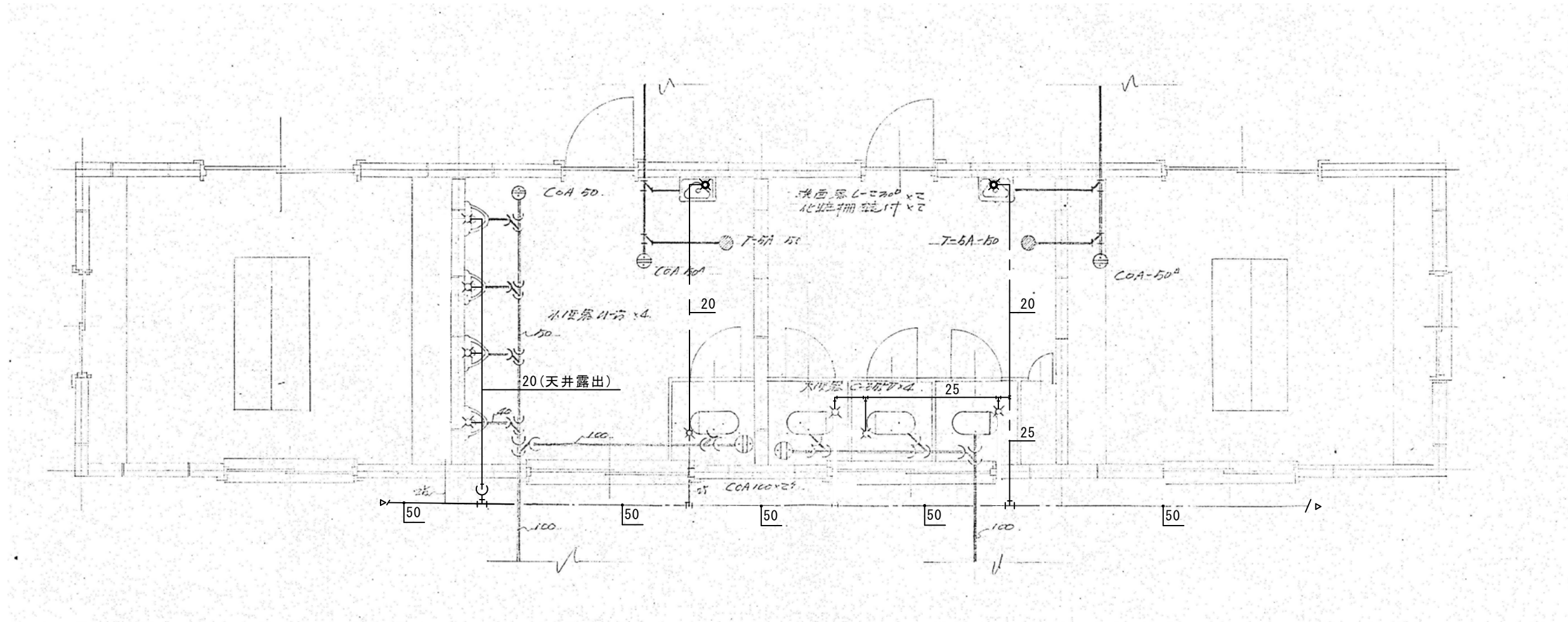
記 事			工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
		印	図面名称 電灯設備照明新設	縮尺 A2 : 1/200 A4 : 1/400
				図面番号 E-02




記 事		 株式会社 東北隼企画 一級建築士(大臣)第132292号 山田 孝吉	工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月	平成30年9月
			印	図面名称	亦楽小学校給水設備平面図	縮尺
					図面番号	M-01



記 事		 株式会社 東北隼企画 一級建築士(大臣)第132292号 山田 孝吉	印	工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
				図面名称 亦楽小学校排水設備平面図	縮尺 A2 : 1/300 A4 : 1/600



記事	

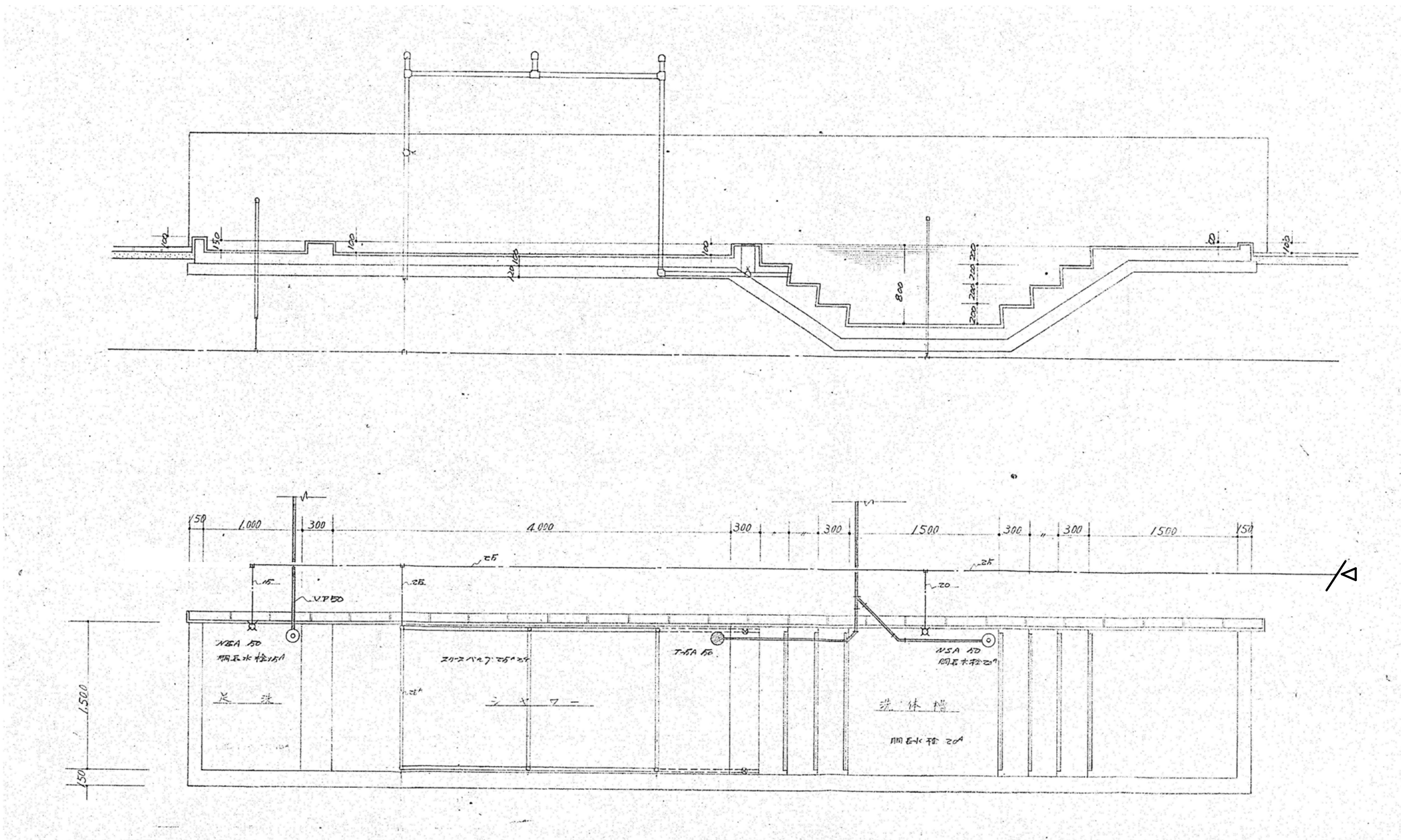

株式会社 東北建設

一級建築士 (大臣) 第 132292 号 山田 孝吉


印

工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
図面名称 更衣室棟給排水設備詳細図	縮尺 A2 : 1/40 A4 : 1/80

図面番号
 M-03

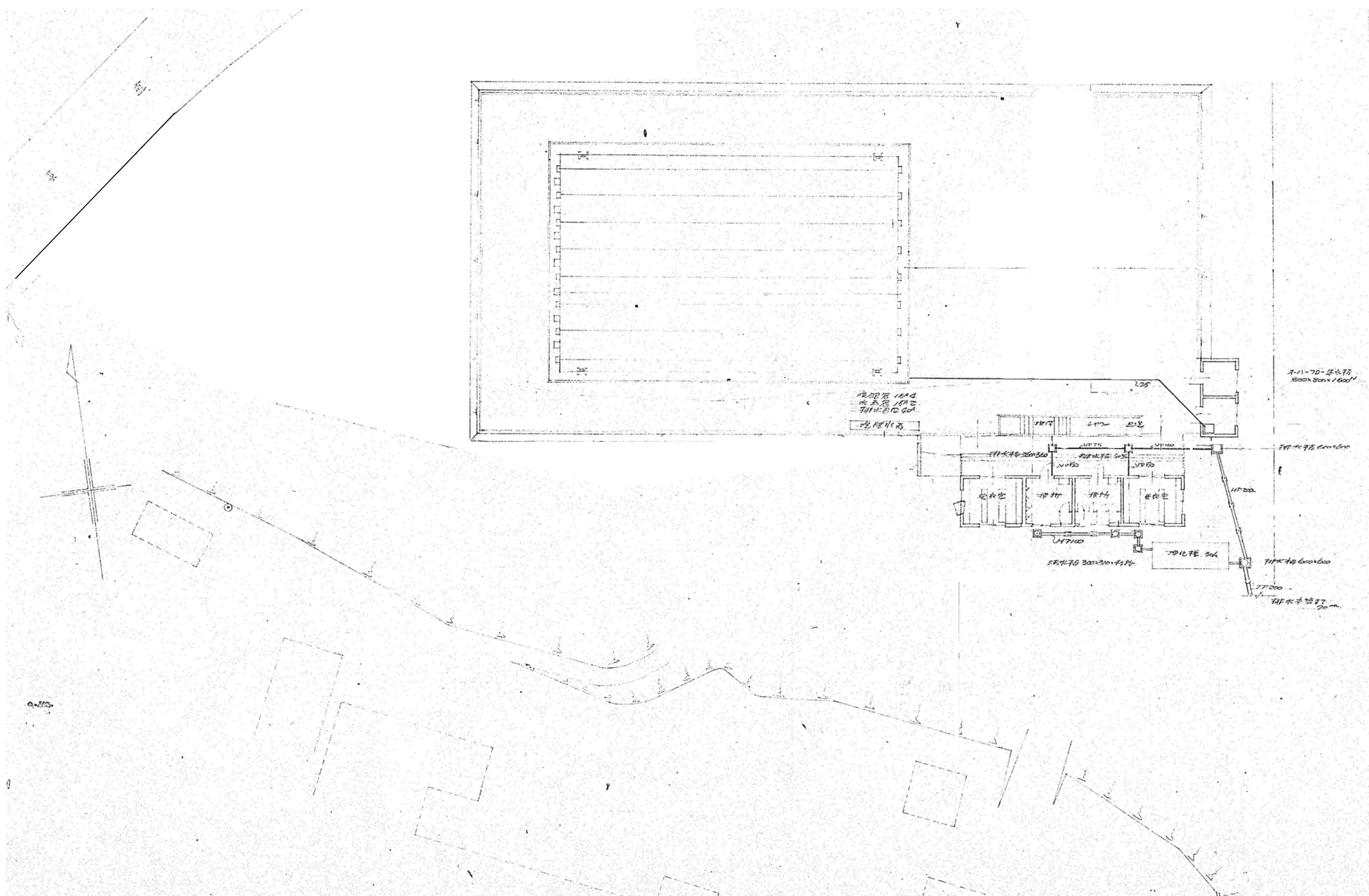



記 事	

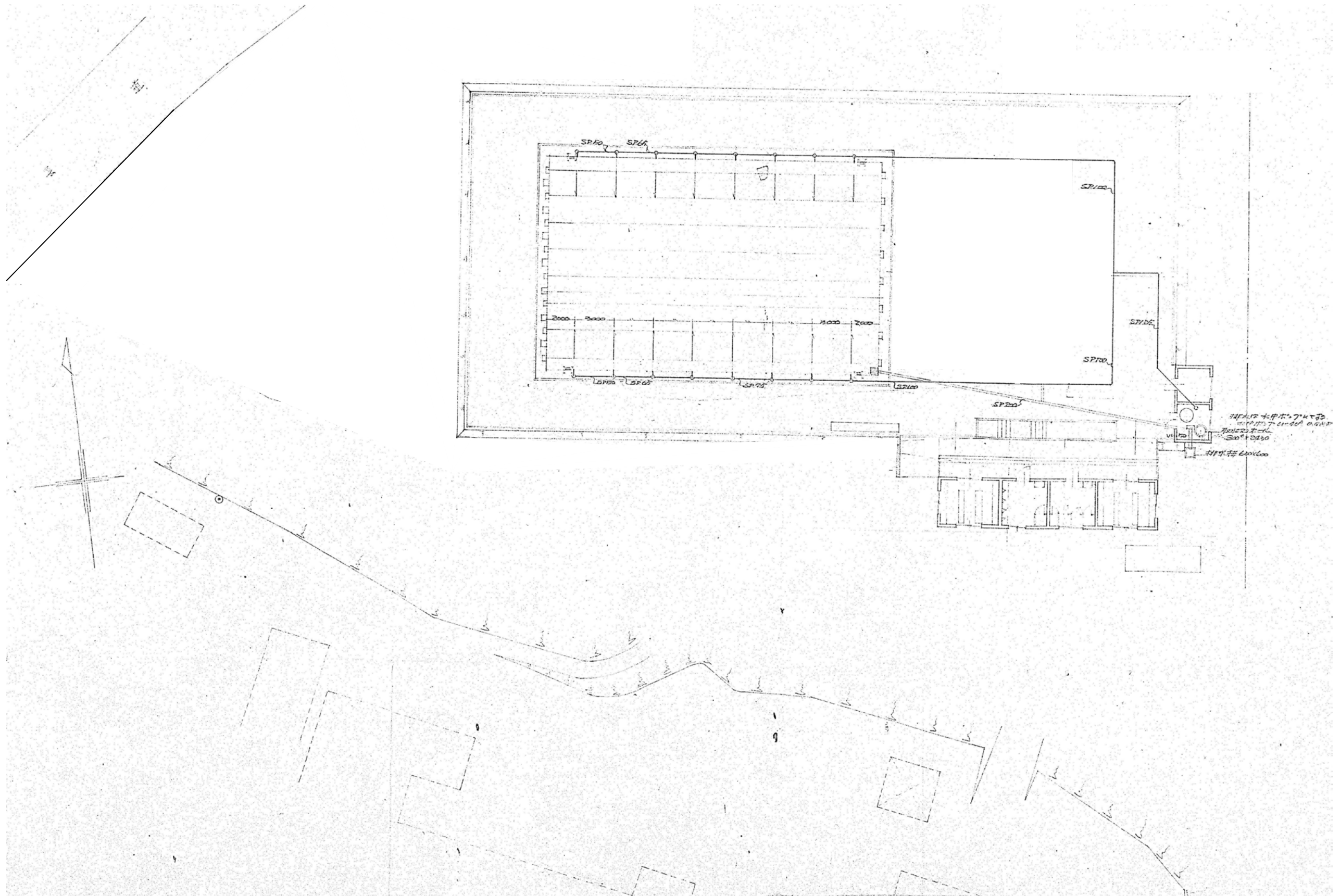

株式会社 東北隼企画
 一級建築士(大臣)第132292号 山田 孝吉


工事名称	平成30年度 亦楽小学校プール解体工事
図面名称	シャワー及び洗体槽給排水設備詳細図

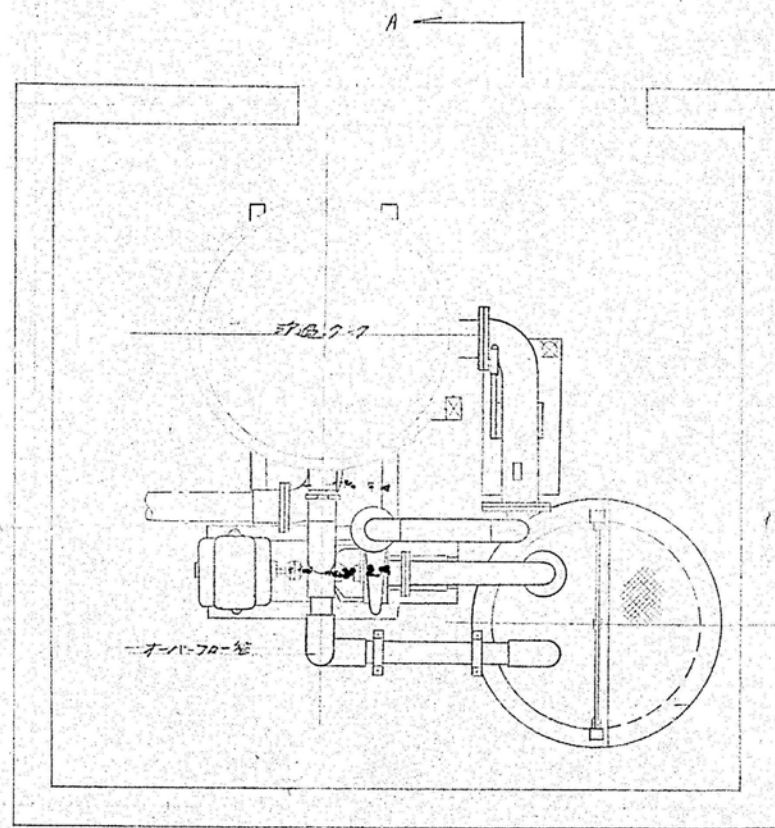
設計年月	平成30年9月
縮尺	A2 : 1/30 A4 : 1/60
図面番号	M-04



記 事		 株式会社 東北隼企画 一級建築士(大臣)第132292号 山田 孝吉	印	工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
				図面名称 プール濾過設備配管図(1)	縮尺 A2: 1/200 A4: 1/400



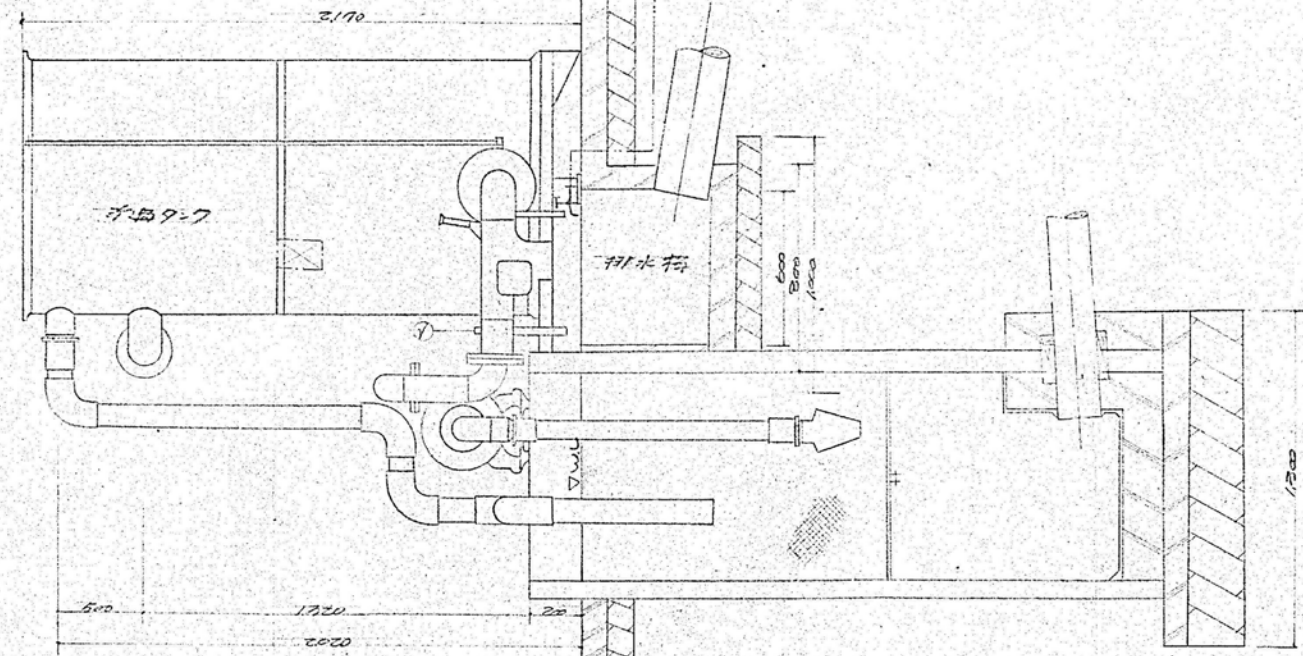
記 事		 株式会社 東北経企画 一級建築士 (大臣) 第132292号 山田 孝吉	工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
			印 . .	図面名称 プール濾過設備配管図 (2)
				図面番号 M-06



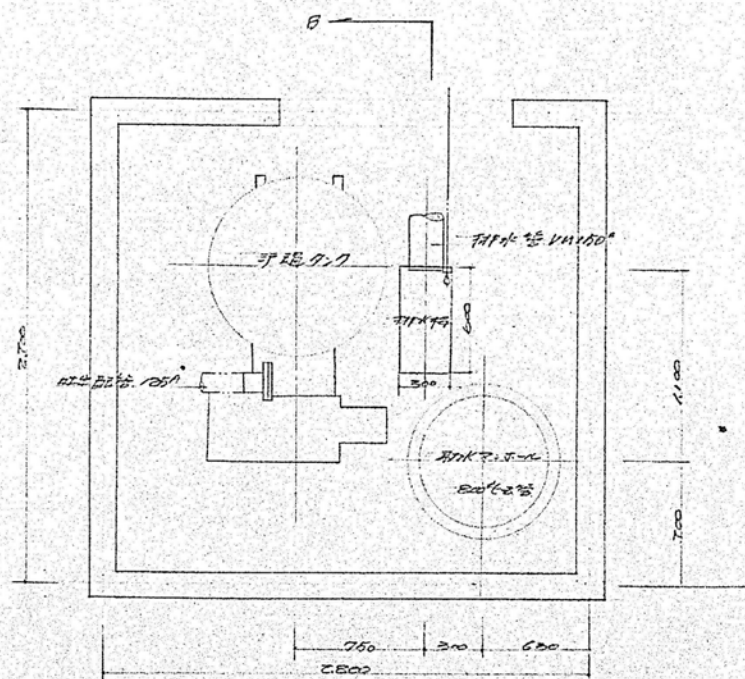
機械平面図 1/50
A-A'

※可逆式珪藻土濾過装置60m³/h

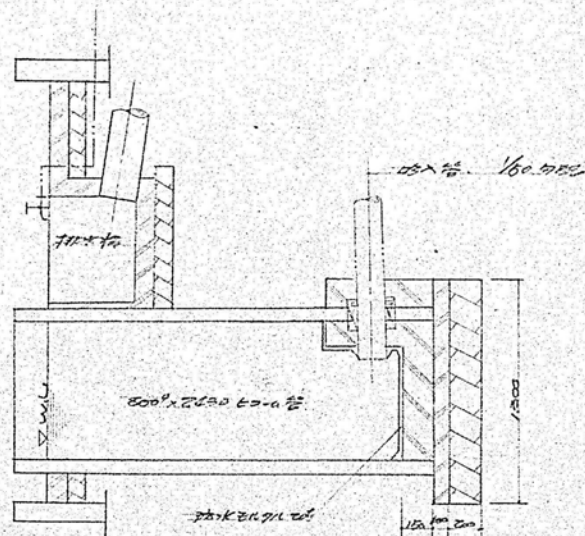
75/100マニホック 800×2000



A-A' 断面図 1/50




機械配置図 1/50
B-B'



B-B' 断面図 1/50

記 事	

 株式会社 東北建企 一級建築士(大臣)第132292号 山田 孝吉	印

工事名称 平成30年度 亦楽小学校プール解体工事	設計年月 平成30年9月
図面名称 プール濾過設備機械配置及び断面図	縮尺 A2 : 1/30 A4 : 1/60

図面番号 M-07
